

委託事業実施内容報告書

平成25年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 総社市

1. 事業名称

総社市地域参加型生活サポート日本語教育事業

2. 事業の目的

地域に暮らす外国人住民が、日本人住民との交流を通して、日本での生活を円滑に行うために必要な日本語の習得とコミュニケーション能力の向上を図りながら、地域社会で暮らすために必要な生活情報・行政情報を得ることのできる場を設けるとともに、言葉の壁によって地域社会と孤立しがちな外国人住民の生活を、隣人としてサポートする地域の人材を育成し、外国人住民が自立し、地域社会の一員として積極的に社会参加できるよう地域全体が支える多文化共生のまちづくりを目指す。

3. 事業内容の概要

地域に暮らす外国人住民を対象に、日本人住民との交流や講習会・体験学習を通して、実践的な日本語の運用能力を身につけるだけでなく、日本の文化・習慣に関する知識や、医療・福祉・教育・防災などの行政情報・生活情報を得ることのできる「地域でつながる日本語教室」を開設する。日本語教室の開設にあたり、外国人住民の日本語学習を生活支援の一環としてサポートする人材の育成を行う「地域に根ざした日本語学習サポーター育成研修」を実施する。そして、外国人住民が継続的・自律的に日本語学習を行い、地域社会への積極的参加を促すことができるよう、生活に必要な日本語の語彙・表現や日本の文化・習慣を学び、生活情報・行政情報を得ることのできる「地域密着型日本語学習教材」の作成を行う。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成25年 6月2日 (日) 10:00～ 12:30	2時間	総社市保健 センター2階 資料展示室	林 圭一 中東 靖恵 平松 秀昭 樂木 章子 尾崎 喜光	H25年度総 社市日本語 教育事業の 概要につい て	平成25年度総社市日本語教育事業に関し、事業目的・事業概要を説明するとともに、各取り組み(日本語教室、人材養成研修、学習教材作成)についての概要、年間スケジュール、日本語教室・人材育成研修への受講者申し込み状況について報告が行われた。
2	平成25年 10月10日 (木) 18:00～ 21:00	2時間	岡山県国際 交流センター	林 圭一 中東 靖恵 平松 秀昭 樂木 章子 尾崎 喜光	H25年度総 社市日本語 教育事業の 中間報告	平成25年度総社市日本語教育事業に関し、各取り組み(日本語教室、人材養成研修、学習教材作成)についての現状、進行状況の報告、中間アンケートの結果報告、各取り組みについての課題について検討が行われた。
3	平成26年 3月10日 (水) 14:00～ 16:00	2時間	市役所2階 会議室	林 圭一 中東 靖恵 平松 秀昭 樂木 章子 尾崎 喜光	H25年度総 社市日本語 教育事業の 最終報告	平成25年度総社市日本語教育事業に関し、各取り組み(日本語教室、人材養成研修、学習教材作成)についての最終報告、最終アンケートの結果報告、今年度事業の反省、次年度事業への課題について検討が行われた。

5. 日本語教室の実施

(1) 講座名称

地域でつながる日本語教室

(2) 目的・目標

地域に暮らす外国人住民が日常生活に必要な日本語の習得やコミュニケーション能力の向上を図りながら、日本人住民との交流を通じて実践的な日本語の運用能力を身につけるとともに、日本の文化・習慣および医療・防災などの行政情報を得、地域住民としての自立と地域社会への積極的参加を促す。

(3) 対象者

地域に居住する外国人住民

(4) 開催時間数(回数) 68 時間 (全 34 回)

【注】当初、70時間(全35回)を予定していたが、大雨警報(8/25)により教室を1回休講した。

(5) 使用した教材・リソース

『地域でつながる日本語教室2012』, 教授者自作教材, 総社市パンフレット他

(6) 受講者の総数 74人

(出身・国籍別内訳 ブラジル:19人, ペルー:6人, 中国:26人, フィリピン:12人, パキスタン:2人, ベトナム:3人, インドネシア:4人, ミャンマー:1人, ネパール:1人)

(7) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成25年6月9日(日) 9:30~11:30	2時間	総社市保健センター	29人	ブラジル(7人)、ペルー(4人)、中国(8人)、フィリピン(2人)、パキスタン(2人)、ベトナム(3人)、インドネシア(2人)、ミャンマー(1人)	自己紹介	自己紹介をするために必要なあいさつ表現や語彙について学び、参加者間で実践練習をした。 【イベント】「自己紹介」ゲーム	高崎倫江・船曳清美	譚 俊偉
2	平成25年6月16日(日) 9:30~11:30	2時間	総社市保健センター	24人	ブラジル(4人)、ペルー(3人)、中国(8人)、フィリピン(2人)、パキスタン(2人)、インドネシア(4人)、ミャンマー(1人)	総社市役所に電話して外国人相談員を呼ぶ	電話の応答に必要な表現を学び、市職員を相手に電話で外国人相談員を呼ぶ実践練習をした。 【イベント】伝言ゲーム	高田 聡・小川宏子	—
3	平成25年6月23日(日) 9:30~11:30	2時間	総社市保健センター	23人	ブラジル(7人)、ペルー(4人)、中国(7人)、フィリピン(2人)、インドネシア(2人)、ミャンマー(1人)	ごみの出し方・公共マナーを理解する	ごみの種類、分別・回収方法など、ごみ出しに必要な語彙・表現を、実物を使用しながら学んだ。 【イベント】環境課職員によるごみ分別講習	高田 聡・三浦温子	譚 俊偉
4	平成25年6月30日(日) 9:30~11:30	2時間	総社市保健センター	17人	ブラジル(4人)、ペルー(3人)、中国(6人)、フィリピン(2人)、ミャンマー(1人)、ネパール(1人)	ちらしに書いてある項目を理解する	スーパーのちらしに書いてある語彙や漢字を理解し、買い物をする際に必要な表現を学んだ。 【イベント】七夕の短冊を書いて飾る	高崎倫江・船曳清美	譚 俊偉
5	平成25年7月7日(日) 9:30~11:30	2時間	総社市保健センター	21人	ブラジル(3人)、ペルー(3人)、中国(7人)、フィリピン(2人)、インドネシア(4人)、ミャンマー(1人)、ネパール(1人)	総社市役所の窓口で相談する・書類を書く	総社市役所での窓口相談に必要な表現を学び、市役所の書類を使用して書類を書く練習をした。 【イベント】盆踊りを練習する	小川宏子・高崎倫江	譚 俊偉
6	平成25年7月14日(日) 9:30~11:30	2時間	総社市保健センター	18人	ブラジル(4人)、ペルー(4人)、中国(6人)、フィリピン(3人)、ミャンマー(1人)	公共交通機関の利用方法	公共交通機関の予約方法や時間の表示方法に必要な表現を学んだ。 【イベント】デマンドタクシー「雪舟くん」利用説明	三浦温子・小川宏子	譚 俊偉

7	平成25年7月21日(日) 9:30~11:30	2時間	総社市保健センター	20人	ブラジル(2人)、ペルー(3人)、中国(9人)、フィリピン(2人)、インドネシア(2人)、ミャンマー(1人)、ネパール(1人)	メニューを読んで理解する	レストランや飲食店のメニューを読むために必要な語彙と注文をする際に必要な表現を学んだ。 【イベント】食べ物の名前ゲーム	高田 聡・三浦温子	譚 俊偉
8	平成25年7月28日(日) 9:30~11:30	2時間	総社市保健センター	14人	ブラジル(6人)、ペルー(2人)、中国(4人)、フィリピン(1人)、ミャンマー(1人)	交通事故・犯罪事件で110番・119番に電話する	交通事故・犯罪事件で110番・119番に電話通報するために必要な表現を学び、実践練習をした。 【イベント】「あ」から始まることばゲーム	小川宏子・高田 聡	譚 俊偉
9	平成25年8月4日(日) 9:30~11:30	2時間	総社市保健センター	16人	ブラジル(7人)、ペルー(4人)、中国(3人)、フィリピン(1人)、ミャンマー(1人)	書道を習う	日本文化の一つである書道について概略を学び、書道講師により実践的な指導を受けた。 【イベント】書道パフォーマンス	船曳清美・三浦温子・松本真明	—
10	平成25年8月18日(日) 9:30~11:30	2時間	総社市保健センター	6人	ブラジル(1人)、ペルー(1人)、中国(3人)、ミャンマー(1人)	総社のイベントや総社の観光名所を知る	総社の観光地・祭り・イベントについて知り、それらの情報を得るための表現を学んだ。 【イベント】日本語教室の展示準備	小川宏子・高崎倫江	譚 俊偉
11	平成25年8月25日(日) 9:30~11:30	—	—	—	大雨警報により、日本語教室は中止	総社の行事・イベントに参加する	—	—	—
12	平成25年9月1日(日) 9:30~11:30	2時間	総社市保健センター	15人	ブラジル(5人)、ペルー(5人)、中国(4人)、ミャンマー(1人)	症状に合わせた病院探し・初診受付をする	症状に合わせた病院を探し、病院での初診手続きを行うのに必要な表現を学んだ。 【イベント】日本語教室の展示を見学	小川宏子・高崎倫江	譚 俊偉
13	平成25年9月8日(日) 9:30~11:30	2時間	高杉こどもクリニック	15人	ブラジル(7人)、ペルー(2人)、中国(4人)、ミャンマー(1人)、ネパール(1人)	病院見学・病院での受付・診察体験	総社市内にある病院で病院見学を行うとともに、病院での受付・診察を模擬体験した。	高田 聡・三浦温子・高杉尚志	—
14	平成25年9月15日(日) 9:30~11:30	2時間	総社市保健センター	10人	ブラジル(4人)、ペルー(5人)、ミャンマー(1人)	交通事故・犯罪事件を近くの人に知らせる・助けを求める	交通事故や犯罪事件を通りがかりの人に知らせ、助けを求める際に必要な語彙を学んだ。 【イベント】「か」からはじまることばゲーム	三浦温子・小川宏子	譚 俊偉
15	平成25年9月22日(日) 9:30~11:30	2時間	総社市保健センター	16人	ブラジル(6人)、ペルー(3人)、中国(6人)、ネパール(1人)	サイズ・色・素材を尋ねて購入する	洋服や靴などのサイズ・色・素材を尋ねて購入するのに必要な語彙・表現を学んだ。 【イベント】衣服に関することばゲーム	高田 聡・高崎倫江	—
16	平成25年9月29日(日) 9:30~11:30	2時間	総社市保健センター	15人	ブラジル(2人)、ペルー(4人)、中国(6人)、ネパール(1人)、フィリピン(2人)	交通マナーを学ぶ	道路標識の種類・意味や、日本の交通ルール・交通マナーに関する語彙・表現を学んだ。 【イベント】交通安全・交通マナー講習	高田 聡・小川宏子	譚 俊偉
17	平成25年10月6日(日) 9:30~11:30	2時間	総社市保健センター	17人	ブラジル(2人)、ペルー(5人)、中国(7人)、ミャンマー(1人)、フィリピン(2人)	地震・台風について理解する	地震や台風など災害時の対策や避難方法に関する表現を学んだ。 【イベント】中間アンケート	高崎倫江・三浦温子	譚 俊偉

18	平成25年10月13日(日) 9:30~11:30	2時間	総社市保健センター	19人	ブラジル(4人)、ペルー(3人)、中国(8人)、ミャンマー(1人)、ネパール(1人)、フィリピン(2人)	マニュアルを読んで理解する	電化製品や加工食品などに書かれているマニュアルの語彙や特有の表現について学んだ。 【イベント】「し」から始まることばゲーム	船曳清美・小川宏子	譚 俊偉
19	平成25年10月20日(日) 9:30~11:30	2時間	総社市保健センター	25人	ブラジル(4人)、ペルー(5人)、中国(11人)、ミャンマー(1人)、ネパール(1人)、フィリピン(3人)	日本の観光地・岡山の観光地、行事・祭り	日本国内・岡山県内の観光地・祭り・イベントについて知り、各種情報を得るための表現を学んだ。 【イベント】しりとリゲーム	高田 聡・高崎倫江	譚 俊偉
20	平成25年10月27日(日) 9:30~11:30	2時間	総社警察署	19人	ブラジル(4人)、ペルー(2人)、中国(8人)、ミャンマー(1人)、ネパール(1人)、フィリピン(3人)	警察見学・防犯教室	総社警察署で交通事故や犯罪事件に遭遇した場合の対処方法を学び、110番に通報する練習をした。	高崎倫江・船曳清美	譚 俊偉
21	平成25年11月3日(日) 9:30~11:30	2時間	総社市保健センター	18人	ブラジル(4人)、ペルー(1人)、中国(10人)、ミャンマー(1人)、ネパール(1人)、フィリピン(1人)	学校の制度や学校の行事を知る	日本の学校制度や学校行事に関する語彙、季節・時間に関する表現を学んだ。 【イベント】パン食い競争	三浦温子・高田 聡	譚 俊偉
22	平成25年11月10日(日) 9:30~11:30	2時間	総社市中央公民館	12人	ブラジル(1人)、ペルー(3人)、中国(6人)、ミャンマー(1人)、フィリピン(1人)	茶道を習う	中央公民館のお茶室で日本文化の一つである茶道を習った。お茶のたて方、飲み方、礼儀作法も学んだ。	小川宏子・船曳清美・加藤三智子	梅木 悦子
23	平成25年11月17日(日) 9:30~11:30	2時間	総社東小学校	14人	ブラジル(3人)、ペルー(2人)、中国(3人)、ミャンマー(1人)、ネパール(1人)、フィリピン(4人)	防災訓練に参加する	総社市主催の防災訓練に日本語教室として参加し、救命救急訓練、土のう積み訓練などを体験した。	—	譚 俊偉
24	平成25年11月24日(日) 9:30~11:30	2時間	総社市保健センター	15人	ブラジル(3人)、ペルー(3人)、中国(7人)、フィリピン(2人)	医者 の 診察を受ける・病気への対処法	病院で診察を受ける際に必要な語彙・表現を学び、実際の診察室で実践練習をした。	高崎倫江・三浦温子	—
25	平成25年12月1日(日) 9:30~11:30	2時間	総社市保健センター	17人	ブラジル(4人)、ペルー(5人)、中国(5人)、フィリピン(2人)、ミャンマー(1人)	アルバイト・パートの求人広告を活用する	無料の情報誌を利用し、求人広告の見方や仕事に関する語彙を学んだ。 【イベント】「は」から始まることばゲーム	三浦温子・高崎倫江	譚 俊偉
26	平成25年12月8日(日) 9:30~11:30	2時間	総社市保健センター	18人	ブラジル(5人)、ペルー(3人)、中国(6人)、フィリピン(3人)、ミャンマー(1人)	職場でのあいさつの仕方・履歴書の書き方	職場での丁寧な言葉づかいやあいさつ表現、履歴書の書き方を学んだ。 【イベント】「就労支援ルーム」紹介・しりとリゲーム	小川宏子・船曳清美	譚 俊偉

27	平成25年12月15日(日) 9:30~11:30	2時間	総社市保健センター	6人	ブラジル(1人)、ペルー(1人)、フィリピン(2人)、ミャンマー(1人)、ネパール(1人)	図書館・レンタルショップの利用方法	本やDVDを借りる時や返却する時に使う語彙・表現を学んだ。 【イベント】総社市立図書館見学	高崎倫江・高田 聡	譚 俊偉
28	平成25年12月22日(日) 9:30~11:30	2時間	総社市保健センター	21人	ブラジル(4人)、ペルー(1人)、中国(7人)、フィリピン(7人)、ミャンマー(1人)、ネパール(1人)	年賀状を書く	年末年始に使うきまり文句や表現を学び、日本の年末行事として年賀状を書く体験をした。 【イベント】年収め茶話会	三浦温子・小川宏子	譚 俊偉
29	平成26年1月12日(日) 9:30~11:30	2時間	総社市保健センター	21人	ブラジル(1人)、ペルー(4人)、中国(7人)、フィリピン(7人)、ミャンマー(1人)、ネパール(1人)	冠婚葬祭、誘いを受ける・断る	日本の結婚式・葬式に関する習慣(祝儀、香典、焼香、服装など)や決まり文句について学んだ。 【イベント】獅子舞を見る	三浦温子・高崎倫江	譚 俊偉
30	平成26年1月19日(日) 9:30~11:30	2時間	総社市保健センター	17人	ブラジル(3人)、ペルー(4人)、中国(7人)、フィリピン(2人)、ミャンマー(1人)	道を尋ねる、道を教える	道を尋ねたり、道を教えたりするために、場所や道順を教える語彙や表現を学んだ。 【イベント】ムカデ競争	高田 聡・小川宏子	譚 俊偉
31	平成26年1月26日(日) 9:30~11:30	2時間	総社市保健センター	18人	ブラジル(4人)、ペルー(2人)、中国(4人)、フィリピン(6人)、ミャンマー(1人)、ネパール(1人)	火災で110番・119番に電話する	総社市消防署で110番・119番に通報する方法や防災について学び、消火訓練を行った。	高崎倫江・船曳清美	譚 俊偉
32	平成26年2月2日(日) 9:30~11:30	2時間	総社市保健センター	20人	ブラジル(5人)、ペルー(4人)、中国(6人)、フィリピン(3人)、ミャンマー(1人)、ネパール(1人)	薬局を利用する。薬の説明を理解する	薬の種類、薬袋や処方箋に書かれてある語彙・表現を市販の薬など実物を利用して学んだ。 【イベント】節分の豆まき	三浦温子・高田 聡	—
33	平成26年2月9日(日) 9:30~11:30	2時間	総社市保健センター	11人	ブラジル(1人)、ペルー(3人)、中国(4人)、フィリピン(2人)、ミャンマー(1人)	防災かるたを利用して防災について学ぶ	総社市作成の「防災かるた」を利用し、防災について学んだ。 【イベント】「すごろく」を使って話をする	高崎倫江・小川宏子	—
34	平成26年2月16日(日) 9:30~11:30	2時間	総社市保健センター	18人	ブラジル(3人)、ペルー(4人)、中国(6人)、フィリピン(2人)、ミャンマー(1人)、ネパール(1人)、インドネシア(1人)	日本の一年	日本の年中行事や祝日について、具体的な行事の内容や風習、謂れなどについて学んだ。 【イベント】最終アンケート	三浦温子・高田 聡	譚 俊偉
35	平成26年3月2日(日) 9:30~11:30	2時間	総社市保健センター	22人	ブラジル(4人)、ペルー(3人)、中国(10人)、フィリピン(3人)、ミャンマー(1人)、ネパール(1人)	公共マナー、引っ越しのあいさつ	公共マナーと、引っ越しの際に使う決まり文句や引っ越しのあいさつ時に贈る物について学んだ。 【イベント】合同修了式	船曳清美・小川宏子	譚 俊偉

(8) 受講者の募集方法

総社市ホームページ、外国人住民向け広報誌「SOJA BRAZILIAN NEWS」(ポルトガル語)、総社ブラジリアンコミュニティホームページ、FACEBOOK、広報「そうじゃ」6月号に掲載。募集チラシ(「やさしい日本語」をベースに、ポルトガル語、英語、中国語訳を付記)(添付資料②参照)を、市内外国人世帯への送付、公民館等文化施設へ配布。総社ブラジリアンコミュニティを通じての周知。

(9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

<p>第2回 6月16日(日)総社市役所に電話し外国人相談員を呼ぶ ■総社市役所内にある外国人相談窓口で常駐する外国人相談員を電話で呼び出すために必要な語彙・表現を学び、市職員を相手に、電話を用いて実践的な練習を行った。</p>	
<p>第3回 6月23日(日)ごみの出し方・公共マナーを学ぶ 講師:総社市市民環境部環境課美化推進係 係長 荒木 久典 総社市市民環境部環境課美化推進係 主事 和木 弘明 ■ゴミの分別・回収方法、収集日について市職員が説明した。</p>	
<p>第4回 6月30日(日)七夕の短冊を書いて飾る ■日本の伝統行事の一つである七夕飾りを行った。受講者に対し七夕の説明を行い、各自が日本語あるいは母語でメッセージを記入し、庁舎1Fの笹に飾った。</p>	
<p>第5回 7月7日(日)盆踊りの練習をする 講師:総社市人権・まちづくり課国際・交流推進係 松重 広美 ■8月3日(土)に開催される総社市の夏祭り「雪舟フェスタ」で踊る盆踊りの練習を行った。</p>	
<p>第6回 7月14日(日)「雪舟くん」の利用説明 講師:総社市人権・まちづくり課安全安心係 主任 仁科 茂樹 ■市職員により、総社市のデマンド・タクシー「雪舟くん」の利用説明が行われ、具体的な予約方法などを学んだ。</p>	
<p>第9回 8月4日(日)書道 講師:徳眞書道教室 松本 真明 ■書道講師を招き「書道」の体験学習を行った。受講者一人一人が好きな文字を選び、講師の手本を見ながら、作品を仕上げた。</p>	
<p>第10回 8月18日(日)日本語教室の展示準備作業 ■総社市日本語教室での活動を、広く総社市住民に知ってもらうため、日本語教室の展示を行うことにした。日本語教室で学ぶ受講者一人一人が、日本人住民に対してメッセージを書いた。</p>	
<p>第12回 9月1日(日)日本語教室の展示を見学 ■日本語教室の展示を、9月2日~9月19日まで、市庁舎1階ロビーで行った。メッセージボードのほか、書道の作品を展示した。日本人からのメッセージや励ましの声が多数寄せられた。</p>	
<p>第13回 9月8日(日)病院見学・病院での受付診察体験 講師:高杉こどもクリニック 院長 高杉 尚志 ■総社市内にある病院で病院見学を行うとともに、病院での受付・診察を模擬体験した。</p>	
<p>第16回 9月29日(日)交通安全・交通マナー講習 講師:総社市人権・まちづくり課安全安心係 交通安全指導員 竹下加奈子, 岩本多加子, 主任 横田 直子 総社警察署 警備課長 小倉 秀堂 警部 地域課泉駐在所 天野 明人 巡查部長 交通課 佐々木 信耶 巡查部長 ■市職員による交通安全講習が行われ、交通マナーを学んだ。</p>	

<p>第20回 10月27日(日)警察署見学・防犯教室 講師:総社警察署 署長 間野 洋児 生活安全課 課長 西川 智子 生活安全課 係長 山本 直希 ■総社市警察署で交通事故や犯罪事件に遭遇した場合の対処方法を学び、110番に通報する練習をした。</p>	
<p>第22回 11月10日(日) 茶道を習う 講師:加藤 三智子 ■茶道講師を招き「茶道」の体験学習を行った。お点前、お茶・お菓子のいただき方だけでなく、礼儀作法も学んだ。</p>	
<p>第23回 11月17日(日) 防災訓練に参加する ■総社東小学校グラウンドで行われた総社市防災訓練に参加した。消火訓練、土のう積み訓練、救命救急訓練などを体験し、防災意識を高めた。</p>	
<p>第27回 12月15日(日) 総社市図書館見学 講師:総社市立図書館 主査 松永 咲裕美 ■市の公共施設の利用方法を学ぶために、総社市立図書館を見学した。図書館職員により、基本的な図書館の利用方法について説明を受けた。</p>	
<p>第28回 12月22日(日) 年賀状を書く ■日本の文化・習慣を学ぶ授業の一環として、年賀状を作成した。年賀状に書く決まり文句や干支(来年は午年)の意味を学び、日本語教授者宛てに年賀状を書き、教授者からも受講者宛てに年賀状を送った。</p>	
<p>第31回 1月26日(日) 消防署見学・消火訓練 講師:総社市消防署教養訓練係 主任 丸川 秀明 救急係 消防士 根本 陽一 ■火災や事故防止への意識向上のため、総社市消防署見学を行った。実際に消火器を使った消火訓練やAED的使用方法について学び、防災への意識を高めた。</p>	
<p>第32回 2月2日(日) 節分の豆まきをする ■日本の文化・習慣を学ぶ授業の一環として、豆まきをした。「節分」の意味や、豆まきや恵方巻を食べる風習などについても学んだ。</p>	
<p>第33回 2月9日(日) 「防災かるた」で防災について学ぶ ■総社市で作成している「防災かるた」を使って、かるた取りゲームをしながら、防災について学び、意識向上を図った。</p>	

(10) 目標の達成状況・成果

今年度日本語教育事業においては、昨年度に引き続き、文化審議会国語分科会の「「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案」に基づき、地域の特性を生かした日本語教育プログラムとして策定した「平成25年度総社市版「生活者としての外国人」に対する日本語教育カリキュラム」(30単位:添付資料①)に従い、学習シラバス(2時間×35回=70時間)を作成して授業を行った。毎回の授業終了時に受講者が記入する「活動記録」およびミーティングでのコーディネーター・教授者・日本語学習サポーター・市職員との話し合い、日本語教室受講者に対して行った中間および最終アンケート調査の結果(添付資料④⑤)により、一定の成果を上げることができたことが確認された。

①日本での生活を円滑に行うために必要な日本語コミュニケーション能力の向上:

日本語教室受講者に対するアンケート調査の結果、日本語の4技能(聞く・話す・読む・書く)における能力向上や「きちんとした日本語を習得できた」と実感している者が多いことが分かった。また、アンケートに答えた受講者全員が「日本語教室が楽しい」と回答しているほか、「日本語を使って日本人としゃべる機会が増えた」「日本人と交流する機会が増えた」と回答している受講者が多く、日本語教室が「日本語を使って住民同士が交流する場」として機能しており、教室参加が受講者の日本語コミュニケーション能力向上を促進する役割を果たしていることが窺えた。

②地域社会で生活するために必要な行政・生活情報の提供:

総社市日本語教育事業においては、事業が開始された平成22年度より一貫して、外国語としての日本語習得だけではなく、日本文化に関する講座、市職員による講習会や体験学習、防災訓練等のイベントへの参加など、日本人との交流や日本語を使用した活動を通して、生活に必要な日本語を実践的に学びながらコミュニケーション能力の向上を図るとともに、地域生活を営む上で不可欠な保健・医療・福祉・教育・防災などの各種行政情報を日本語教室を通じて提供することを目的に、教室運営を行っている。

日本語教室における外国人向け体験学習・講習会の実施は総社市各担当部署との連携により、また、その他日本語教室における生活情報・行政情報の提供は、岡山県内のNPO、各種機関・団体との連携により行われている。今年度実施事業については以下の通りである。昨年度に引き続き行ったものもあるが、今年度新規で行った連携事業もある。

(ア)総社市各担当部署との連携

- 環境課美化推進係によるゴミ分別講習(平成25年6月23日)
- 総社市主催の夏祭りのための盆踊りの練習(平成25年7月7日)
- 総社市主催の夏祭り「雪舟フェスタ」への参加(平成25年8月3日)
- 人権・まちづくり課安全安心係による「雪舟くん」利用講習(平成25年7月14日)
- 人権・まちづくり課安全安心係・総社警察署による交通安全講習(平成25年9月29日)
- 総社警察署による防犯教室(平成25年10月27日)
- 総社市防災訓練への参加(平成25年11月17日)
- 総社市図書館司書による図書館利用講習(平成25年12月15日)
- 総社市消防本部による消防署見学・消火訓練(平成26年1月26日)

(イ)岡山県内のNPO、各種機関・団体との連携

- 徳真書道教室講師による日本語教室での書道講習(平成25年8月4日)
- AMDA国際医療情報センターとの協働事業で作成された『総社市多言語医療ガイド』(5か国語版)を利用した授業の実施(平成25年9月1日, 11月24日, 平成26年2月2日)
- 高杉こどもクリニックでの病院見学・受診体験(平成25年9月8日)
- 茶道講師による茶道講座(平成25年11月10日)
- ハローワーク総社内「就労支援ルーム」との連携による就職支援講習(平成25年12月8日)

以上に挙げた事業の中でも、とりわけ防災や医療・救急に関わり、かつ、実体験を伴う防災訓練や防犯教室、今年度新規に行った病院見学については、受講者の関心も高いことから大変好評であった。また、日本語学習サポーターからも緊急時における対応について意識を高めることができたというコメントが寄せられた。日本文化講座に関して、平成22年度から実施している書道講座のほか、今年度は新規で茶道講座を行うことができ、日本文化講座の幅が広がった。

③地域住民同士がつながる場の提供:

昨年度に引き続き、「地域に根ざした日本語学習サポーター育成研修」における研修の一環として、地域に暮らす日本人住民が、外国人住民の日本語学習を支援する「日本語学習サポーター」として日本語教室に参加することにより、教室内でより細かなサポートを行えるようにするとともに、「地域住民同士がつながる場」として日本語教室が機能するよう、外国人住民と日本人住民との交流を促す試みを行った。

日本語教室受講者の日本語能力のレベル差が大きいことから、教室活動における日本語学習サポーターの役割は大きく、受講者からは日本人との会話が増えたことや日本人との交流を深めることができたことへの喜びや、日本人の友達ができただけで行動範囲が広がった、もっと日本人と交流をして日本のことを知りたいと望む声が聞かれ、日本語教授者や日本語学習サポーターによる支援を心強く感じているという大変好意的なコメントが寄せられた。

日本語学習サポーターが教室に参加するという仕組み作りは昨年度から始めたものだが、昨年度から継続して参加するサポーターの存在もあり、受講者との関係性の構築や教室でのサポートの方法などの面で、昨年度よりもこの仕組みがうまく機能し、地域住民同士のつながりがより強化されているように感じられた。

④地域の外国人支援活動・多文化共生を推進するための基盤作り:

昨年度に引き続き、今年度も市庁舎1Fロビーで日本語教室の展示を行った(平成25年9月2日~19日)。市庁舎での日本語教室の展示を通じ、日本語教室が本市で行われていることを地域社会に対して周知し、外国人支援活動に対する理解を求めるとともに、日本語教室が地域に暮らす外国人住民と日本人住民をつなぐ場となり、地域住民による外国人支援活動を地域社会に根付かせることができるよう今後も引き続き日本語教室活動の一環として行っていきたい。また、日本語教室の展示パネルは、昨年度と同様、後日、岡山市にある岡輝公民館にて再展示が行われ、総社市日本語教室での活動をより多くの市民に知ってもらう機会を得た。地域の日本語教室を通じた地域間の連携・相互交流により、より一層、外国人支援活動が活性化するよう、今後も連携を強めていきたいと考えている。

⑤外国人住民の自立支援を行うための試み:

総社市と「多文化共生に関する協定」を締結しているAMDAグループとの連携により、平成25年11月9日～10日、及び平成26年2月9日に外国人防災リーダー養成研修が行われ、日本語教室受講者からも数名が参加した。防災リーダー養成研修では、非常食の作成体験、避難所物資仕分作業、救命救急講習など基本的な防災知識の習得に加え、市内の外国人全員に配布予定の防災カードの作成に関するワークショップを行政防災担当部局とともに行った。今後は、外国人防災リーダーが主体的に行う活動を行政がサポートする仕組みを構築したいと考えており、日本語教室も外国人防災リーダーによる防災講習の場として活用したいと考えている。

(11) 改善点について

毎回の授業終了時に行うミーティングでの教授者・日本語学習サポーター・コーディネーター・市職員との話し合い、毎月1回行うコーディネーター・教授者・市職員との打ち合わせ会、教授者に対して行った中間および最終アンケート調査の結果(添付資料⑧⑨)により、取り組み内容や実施体制などについて検証を行った。

①日本語教室の授業内容・教授方法

ア) 総社市日本語教室での日本語教育カリキュラム・シラバスについて:

今年度日本語教育事業は、昨年度の反省を踏まえ、受講者のニーズの高いもの、より頻度の高い生活場面をより重点化するなど改良を行った「平成25年度総社市版「生活者としての外国人」に対する日本語教育カリキュラム」に従って授業シラバスを作成した。また、今年度は昨年度よりも授業回数が多く行えたため(H24年度:30回、H25年度:35回)、昨年度よりも重要な授業テーマについてはじっくりと取り組むことができた。

昨年度から継続して日本語教室に参加する受講者がいることから、各テーマを担当する日本語教授者を昨年度とできるだけ入れ替え、授業内容にバリエーションを持たせるよう工夫した。こうした工夫により、昨年度と同じ授業テーマであっても、受講者だけでなく、日本語教授者、日本語学習サポーターも飽きることなく授業に取り組むことができた。

イ) 1回完結型(文法積み上げ式を採用しない)の授業形態について:

本市日本語教室の受講対象者は「生活者としての外国人」であり、日本語学習を必要とする本市に居住する外国人の多くが就労者であるため、継続的に日本語教室に参加することには困難を伴う。このような受講者を中心とする本市の日本語教室において、毎回の授業参加を原則とする文法積み上げ式の教室運営を行うことは困難であるため、今年度も昨年度に引き続き、1回完結型の場面シラバスによる会話コミュニケーション重視の授業形態を採用した。

受講者に対しては、「いつ来ても日本語教室に参加できる」という安心感を与えることができ、また、受講者同様、毎回参加することの難しい日本語学習サポーターにとっても心理的負担を強いるものではないことから、今後も引き続き、この方針で授業運営を行っていきたいと考えている。また、1回完結型の授業形態であっても、比較的継続して参加する受講者においては、ゆるやかに日本語能力が積み上がっていることが窺えた。

②日本語教室の運営・実施体制

ア) 教授者5人によるローテーション体制について:

本市日本語教室においてはレベルの異なる2クラスを設けているため、1回の授業につき2人の教授者が必要となる。昨年度に引き続き、今年度においても、5人の有資格者の日本語教授者を確保することができたため、5人のローテーション体制によって教室運営を行った。教授者5人による分担体制によるメリットは、1人あたりの物理的・心理的負担を軽減することができることだけでなく、授業のバリエーションを増やすことができることや、多様な背景を持つ地域日本語教室の受講者への対応という点でも大きなメリットがある。

一方で、毎回同じ教授者が授業を担当するわけではないため、授業の引き継ぎや情報共有をきちんと行う必要があることから、昨年度の反省を踏まえ、各授業担当者が、教授者全員にメールで授業報告(受講者人数、新しく来た受講者の有無と国籍・母語・日本語レベル等の情報、授業で扱った文型や内容など、授業中気になったこと、改善点など)をすることで、授業内容の確認、引き継ぎ、情報共有を行える体制を整えた。

日本語教育の質を確保するため、本市日本語教育事業においては有資格者で、教歴が長く、かつ、多様な形態での教授経験を持つ日本語教師を教授者として配置しているが、受講者や日本語学習サポーターからも、その教授方法が大変好評であることから、今後も引き続き、有資格者による日本語教室運営を行っていききたい。

イ) 日本語学習サポーターの教室参加について:

H22年度から開始した本市日本語教育事業における人材育成・養成研修において、H22年度・H23年度の2年間は、日本語教室で日本語を教授するボランティア日本語教師養成のための講座を開設してきた。しかし研修終了後に、ボランティア日本語教師として教壇に立てるような人材が育たなかったこと、また、外国人との接触の少ない本市の地域住民にとって、外国人に接することそのものが心理的にハードルの高い活動であることが明らかとなったため、昨年度から、人材の養成・研修の一環として、地域住民が「日本語学習サポーター」として日本語教室に教授者の補助的存在(=サポーター)として参加するという形態をとることとした。

昨年度は、日本語学習サポーターの教室内での役割やサポートの方法などが明確でなく、教授者の指示もあいまいで、かつ、教授者によりばらつきがあり、サポーターの扱いに苦慮したが、今年度は日本語教授者も慣れ、昨年度から継続して参加する日本語学習サポーターもいたことから、教室開講当初からかなりスムーズに教室活動を行うことができた。

また、本市日本語教室の受講対象者は「生活者としての外国人」であり、日本語学習の背景も日本語能力もさまざまであり、財政、人材の確保等諸条件を勘案し、ゆるやかに2つのクラスに分けて教室運営を行っているが、両クラス内での日本語能力のレベル差もかなりある。さらに、途中から新規受講者が参加することを考えれば、受講者間のレベル差を縮めることは困難を極める。このような状況を鑑み、教室内で日本語学習サポーターによるきめ細やかな補助を行いながら、教室運営をしていく方法を昨年度から行っているが、今年度はその効果がより大きく感じられ、地域日本語教育の教室運営の在り方の一つとして有効であることが実感できた。

ウ) 日本語教室における通訳について:

本市日本語教室においては、H22年度より一貫して、総社市多文化共生員である外国人相談員兼通訳であるブラジル人職員を、日本語教室の補助者として配置している。日本語教室には通常、通訳はいないものであり、通訳がいることで学習を阻害してしまう側面もあるが、一方で、本市の日本語教室受講者の日本語学習状況や日本語能力を考えた場合、通訳を介することで受講者に安心感を与え、日本語学習を継続するという意欲につながっているという側面もある。また、日本語教室に補助者として配置されているブラジル人職員は、母語であるポルトガル語のほか、スペイン語、英語にも堪能であり、幅広く対応できるというメリットもある。

だが、日本語教室開設当初はブラジル人・ペルー人という南米系外国人一辺倒であった本市日本語教室の受講者は年々多国籍化しており、ポルトガル語だけの通訳では対処できないというだけでなく、ある特定の国籍のみに特化した通訳の在り方や教室の運営方法は、他の国籍の学習者に対し差別感や嫌悪感を与えることになってしまおうという懸念が生まれてきた。

こうした問題意識は昨年度から強まっていたが、とりわけ今年度は中国人受講者の増加だけでなく、フィリピン、ベトナム、インドネシアなど東南アジア諸国出身の受講者が増え、日本語教室の補助者であるブラジル人職員ではまったく対応できない事態に陥ることとなった。このような傾向は今後も変わらないことから、外国人受講者に対しては原則として「やさしい日本語」を使用し、教室参加者にも周知徹底する必要があると同時に、一方で難しい内容を伝達する場合には通訳が必要となることから、現時点でカバーできない言語に対してどのように対処していくのか、今後の課題として考えていきたい。

③ 日本語教室の受講者

ア) 受講者の参加率・継続率の向上について:

本市では、できるだけ多くの外国人住民が参加できるよう、就労者でも通いやすい日曜日の午前中(外国人住民に対するアンケート調査により、この日時を希望する人が多数いることを確認済み)に日本語教室を開設し、小さな子供のいる家庭でも日本語教室に参加できるよう、無料で保育・託児を設けている。

また、受講者の学習意欲を継続させるため、毎月1度のコーディネーター・教授者・市職員による打ち合わせ会において授業の反省・改善対策を行うとともに、受講者だけでなく、日本語学習サポーター、日本語教授者含め、教室に参加する人すべてが楽しく教室活動に取り組めるよう、授業内容や授業の方法においてさまざまな工夫を行っている。その成果もあり、今年度は受講者数の多少の増減はあるものの、毎回の参加者数は安定しており、授業運営が極めて円滑に行われているため、今後も継続していきたいと考えている。

イ) 受講者の多国籍化・属性の多様化について:

日本語教室開設当初はブラジル人・ペルー人という南米系外国人一辺倒であった本市日本語教室の受講者は年々多国籍化しており、昨年度に続き、今年度も受講者の出身国は9か国にも上った。さまざまな言語を母語とする外国人が集まる結果、外国人受講者間での共通言語が自ずと「日本語」となり、教室内で日本語の使用を促す効果が認められ、受講者の多国籍化は、通訳の必要性を最小限に抑えることができることが確認された。また、従来は本市に定住する就労者が受講者の中心であったが、今年度は短期滞在の研修生・技能実習生に加え、日本人家族と本市に暮らす日本人配偶者が増え始め、受講者の多国籍化とともに、属性の多様化が顕著となってきた。受講者の多国籍化と属性の多様化は、地域日本語教育に対するニーズをより多様化させるという問題をもちたすが、一方で、地域社会における多文化共生推進や地域住民の意識啓発・意識向上のためにも、外国人の自立支援のために行う「生活者としての外国人」に対する日本語教室のあり方としては喜ばしい状況であると考えられ、今後も状況を見ながら、日本語教室の運営方法や日本語教育事業の方向性を考えていきたい。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

(1) 講座名称

地域に根ざした日本語学習サポーター育成研修

(2) 目的・目標

地域住民を対象に、外国人住民の日本語学習を生活支援の一環としてサポートする人材の育成を行うとともに、外国人住民の自立や積極的社会参加を促す意義や重要性を働きかけながら、多文化共生社会への意識啓発・意識醸成を行い、継続的な外国人支援体制を地域に根付かせるための基盤作りを行う。

(3) 対象者

外国人住民の支援に関心のある地域住民。日本語教育の経験・知識は問わない。

(4) 開催時間数(回数) 31 時間 (下記(ア)(イ)の合計)

(ア) 学習研修: 1回2時間×6回のうち、3回(2時間×3回=6時間)以上参加

(イ) 実践研修: 1回2.5時間(日本語教室:2時間, ミーティング:0.5時間=2.5時間)×30回のうち、10回(2.5時間×10回=25時間)以上参加

(5) 使用した教材・リソース

『地域でつながる日本語教室2012』、『総社市における南米系定住外国人の言語生活実態調査報告書』、総社市パンフレット、教授者自作教材

(6) 受講者の総数 19人

(出身・国籍別内訳 日本:18人, 中国:1人)

(7) 養成・研修の具体的内容

(ア) 学習研修: 日本語教育に関する研修を受講

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成25年6月2日(日) 13:30~15:30	2時間	総社市保健センター	8人	日本(8人)	平成25年度総社市日本語教育事業について	総社市における外国事情・多文化共生施策の概要, 平成25年度総社市地域参加型生活サポート日本語教育事業概要と日本語学習サポーターの役割	西川 茂・中東靖恵	
2	平成25年6月16日(日) 13:30~15:30	2時間	総社市保健センター	6人	日本(6人)	地域における日本語教室のあり方	「居場所」としての教室を作ろう!	間瀬尹久	奥村玲子
3	平成25年6月30日(日) 13:30~15:30	2時間	総社市保健センター	9人	日本(8人), 中国(1人)	やさしい日本語	みんなで作ろう! 「やさしい日本語」	内丸裕佳子	

4	平成25年9月15日(日) 13:30~16:00	2.5時間	総社市保健センター	7人	日本(7人)	平成25年度総社市日本語教育事業について	総社市における外国人事情・多文化共生施策の概要, 平成25年度総社市地域参加型生活サポート日本語教育事業概要と日本語学習サポーターの役割	中山知輝・中東靖恵	
5	平成25年9月29日(日) 13:30~15:30	2時間	総社市保健センター	9人	日本(8人), 中国(1人)	他地域における日本語教育の現状	香川県における日本語学習支援とネットワークの現状と課題	山下直子・畑ゆかり	
6	平成25年10月20日(日) 13:30~16:00	2.5時間	総社市保健センター	8人	日本(7人), 中国(1人)	地域の外国人住民が抱える問題	総社市に暮らす外国人住民が抱える問題とその解決策	譚 俊偉	高崎倫江・高田 聡・譚 俊偉

(イ)実践研修:「地域でつながる日本語教室」に日本語学習サポーターとして参加

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成25年6月9日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	9人	日本(9人)	自己紹介	自己紹介をするために必要なあいさつ表現や語彙について学び, 参加者間で実践練習をした。 【イベント】「自己紹介」ゲーム	高崎倫江・船曳清美	譚 俊偉
2	平成25年6月16日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	6人	日本(6人)	総社市役所に電話して外国人相談員を呼ぶ	電話の応答に必要な表現を学び, 市職員を相手に電話で外国人相談員を呼ぶ実践練習をした。 【イベント】伝言ゲーム	高田 聡・小川宏子	—
3	平成25年6月23日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	8人	日本(8人)	ごみの出し方・公共マナーを理解する	ごみの種類, 分別・回収方法, ごみ出しに必要な語彙・表現を実物を使用しながら学んだ。 【イベント】環境課職員によるごみ分別講習	高田 聡・三浦温子	譚 俊偉
4	平成25年6月30日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	3人	日本(2人), 中国(1人)	ちらしに書いてある項目を理解する	スーパーのちらしに書いてある語彙や漢字を理解し, 買い物をする際に必要な表現を学んだ。 【イベント】七夕の短冊を書いて飾る	高崎倫江・船曳清美	譚 俊偉
5	平成25年7月7日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	7人	日本(6人), 中国(1人)	総社市役所の窓口で相談する・書類を書く	総社市役所での窓口相談に必要な表現を学び, 市役所の書類を使用して書類を書く練習をした。 【イベント】盆踊りを練習する	小川宏子・高崎倫江	譚 俊偉
6	平成25年7月14日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	4人	日本(4人)	公共交通機関の利用方法	公共交通機関の予約方法や時間の表示方法に必要な表現を学んだ。 【イベント】デマンドタクシー「雪舟くん」利用説明	三浦温子・小川宏子	譚 俊偉
7	平成25年7月21日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	9人	日本(8人), 中国(1人)	メニューを読んで理解する	レストランや飲食店のメニューを読むために必要な語彙と注文をする際に必要な表現を学んだ。 【イベント】食べ物の名前ゲーム	高田 聡・三浦温子	譚 俊偉
8	平成25年7月28日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	2人	日本(2人)	交通事故・犯罪事件で110番・119番に電話する。	交通事故・犯罪事件で110番・119番に電話通報するために必要な表現を学び, 実践練習をした。 【イベント】「あ」から始まることばゲーム	小川宏子・高田 聡	譚 俊偉

9	平成25年8月4日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	5人	日本(5人)	書道を習う	日本文化の一つである書道について概略を学び、書道講師により実践的な指導を受けた。	船曳清美・三浦温子・松本真明	—
10	平成25年8月18日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	5人	日本(5人)	総社のイベントや総社の観光名所を知る	総社の観光地・祭り・イベントについて知り、それらの情報を得るための表現を学んだ。 【イベント】日本語教室の展示準備	小川宏子・高崎倫江	譚 俊偉
11	平成25年8月25日(日) 9:30~12:00	—	—	—	大雨警報により、日本語教室は中止	総社の行事・イベントに参加する	—	—	—
12	平成25年9月1日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	6人	日本(5人)、中国(1人)	症状に合わせた病院探し・初診受付をする	症状に合わせた病院を探し、病院での初診手続きを行うのに必要な表現を学んだ。 【イベント】日本語教室の展示を見学	小川宏子・高崎倫江	譚 俊偉
13	平成25年9月8日(日) 9:30~12:00	2.5時間	高杉こどもクリニック	6人	日本(6人)	病院見学・病院での受付・診察体験	総社市内にある病院で病院見学を行うとともに、病院での受付・診察を模擬体験した。	高田 聡・三浦温子・高杉尚志	—
14	平成25年9月15日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	4人	日本(4人)	交通事故・犯罪事件を近くの人に知らせる・助けを求める	交通事故や犯罪事件を通りがかりの人に知らせ、助けを求める際に必要な語彙を学んだ。 【イベント】「か」からはじまることばゲーム	三浦温子・小川宏子	譚 俊偉
15	平成25年9月22日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	6人	日本(6人)	サイズ・色・素材を尋ねて購入する	洋服や靴などのサイズ・色・素材を尋ねて購入するのに必要な語彙・表現を学んだ。 【イベント】衣服に関することばゲーム	高田 聡・高崎倫江	—
16	平成25年9月29日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	7人	日本(6人)、中国(1人)	交通マナーを学ぶ	道路標識の種類・意味や、日本の交通ルール・交通マナーに関する語彙・表現を学んだ。 【イベント】交通安全・交通マナー講習	高田 聡・小川宏子	譚 俊偉
17	平成25年10月6日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	4人	日本(4人)	地震・台風について理解する	地震や台風など災害時の対策や避難方法に関する表現を学んだ。 【イベント】中間アンケート	高崎倫江・三浦温子	譚 俊偉
18	平成25年10月13日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	9人	日本(9人)	マニュアルを読んで理解する	電化製品や加工食品などに書かれているマニュアルの語彙や特有の表現について学んだ。 【イベント】「し」から始まることばゲーム	船曳清美・小川宏子	譚 俊偉
19	平成25年10月20日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	4人	日本(4人)	日本の観光地・岡山の観光地、行事・祭り	日本国内・岡山県内の観光地・祭り・イベントについて知り、各種情報を得るための表現を学んだ。 【イベント】しりとりにゲーム	高田 聡・高崎倫江	譚 俊偉
20	平成25年10月27日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社警察署	5人	日本(4人)、中国(1人)	警察見学・防犯教室	総社警察署で交通事故や犯罪事件に遭遇した場合の対処方法を学び、110番に通報する練習をした。	高崎倫江・船曳清美	譚 俊偉

21	平成25年11月3日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	4人	日本(4人)	学校の制度や学校の行事を知る	日本の学校制度や学校行事に関する語彙、季節・時間に関する表現を学んだ。 【イベント】パン食い競争	三浦温子・高田 聡	譚 俊偉
22	平成25年11月10日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	7人	日本(7人)	茶道を習う	中央公民館のお茶室で日本文化の一つである茶道を習った。お茶のたて方、飲み方、礼儀作法も学んだ。	小川宏子・船曳清美・加藤三智子	梅木 悦子
23	平成25年11月17日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	7人	日本(6人)、中国(1人)	防災訓練に参加する	総社市主催の防災訓練に日本語教室として参加し、救命救急訓練、土のう積み訓練などを体験した。	-	譚 俊偉
24	平成25年11月24日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	3人	日本(3人)	医者診察を受ける・病気への対処法	病院で診察を受ける際に必要な語彙・表現を学び、実際の診察室で実践練習をした。	高崎倫江・三浦温子	-
25	平成25年12月1日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	6人	日本(6人)	アルバイト・パートの求人広告を活用する	無料の情報誌を利用し、求人広告の見方や仕事に関する語彙を学んだ。 【イベント】「は」から始まることばゲーム	三浦温子・高崎倫江	譚 俊偉
26	平成25年12月8日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	4人	日本(3人)、中国(1人)	職場でのあいさつの仕方・履歴書の書き方	職場での丁寧な言葉づかいやあいさつ表現、履歴書の書き方を学んだ。 【イベント】「就労支援ルーム」紹介・しりとりゲーム	小川宏子・船曳清美	譚 俊偉
27	平成25年12月15日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	5人	日本(5人)	図書館・レンタルショップの利用方法	本やDVDを借りる時や返却する時に使う語彙・表現を学んだ。 【イベント】総社市立図書館見学	高崎倫江・高田 聡	譚 俊偉
28	平成25年12月22日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	3人	日本(3人)	年賀状を書く	年末年始に使うきまり文句や表現を学び、日本の年末行事として年賀状を書く体験をした。 【イベント】年収め茶話会	三浦温子・小川宏子	譚 俊偉
29	平成26年1月12日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	3人	日本(3人)	冠婚葬祭、誘いを受ける・断る	日本の結婚式・葬式に関する習慣(祝儀、香典、焼香、服装など)や決まり文句について学んだ。 【イベント】獅子舞を見る	三浦温子・高崎倫江	譚 俊偉
30	平成26年1月19日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	5人	日本(5人)	道を尋ねる、道を教える	道を尋ねたり、道を教えたりするために、場所や道順を教える語彙や表現を学んだ。 【イベント】ムカデ競争	高田 聡・小川宏子	譚 俊偉
31	平成26年1月26日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	5人	日本(5人)	火災で110番・119番に電話する	総社市消防署で110番・119番に通報する方法や防災について学び、消火訓練を行った。	高崎倫江・船曳清美	譚 俊偉

32	平成26年2月2日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	4人	日本(4人)	薬局を利用する。薬の説明を理解する	薬の種類、薬袋や処方箋に書かれてある語彙・表現を市販の薬など実物を利用して学んだ。 【イベント】節分の豆まき	三浦温子・高田 聡	—
33	平成26年2月9日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	6人	日本(6人)	防災かるたを利用して防災について学ぶ	総社市作成の「防災かるた」を利用し、防災について学んだ。 【イベント】「すごろく」を使って話をする	高崎倫江・小川宏子	—
34	平成26年2月16日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	5人	日本(5人)	日本の一年	日本の年中行事や祝日について、具体的な行事の内容や風習、謂れなどについて学んだ。 【イベント】最終アンケート	三浦温子・高田 聡	譚 俊偉
35	平成26年3月2日(日) 9:30~12:00	2.5時間	総社市保健センター	5人	日本(5人)	公共マナー、引っ越しのあいさつ	公共マナーと、引っ越しの際に使う決まり文句や引っ越しのあいさつ時に贈る物について学んだ。 【イベント】合同修了式	船曳清美・小川宏子	譚 俊偉

(8) 受講者の募集方法

総社市ホームページ、広報「そうじゃ」6月号に掲載。募集チラシ(添付資料③)を公民館等文化施設へ配布。

(9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

<p>第2回 6月16日(日) 講師:(財)東広島市教育文化振興事業団 多文化共生コーディネーター 間瀬 尹久 ■地域における日本語教室の活動事例の紹介と、実際に日本語教育活動を行うために必要なグループ活動の方法を学んだ。</p>	
<p>第3回 6月30日(日) 講師:岡山大学言語教育センター 准教授 内丸 裕佳子 ■地域日本語教育におけるコミュニケーション方法に必要な「やさしい日本語」について学び、ワークショップ形式で実践練習をした。</p>	
<p>第5回 9月29日(日) 講師:香川大学教育学部 教授 山下 直子 穴吹ビジネスカレッジ 教務部日本語学科主任 畑 ゆかり ■香川県における地域日本語教育の実情と、ボランティアによる日本語学習支援の実態と支援を行う上での課題について学んだ。</p>	
<p>第6回 10月20日(日) 講師:総社市多文化共生推進員 譚 俊偉 ■総社市に多く暮らす外国人抱える問題について、相談員として総社市役所で活動を行う講師自らの体験談を聞き、外国人の実情を知ることの重要性を学んだ。</p>	

(10) 目標の達成状況・成果

本市は、地域に暮らす外国人住民を対象に日本語を指導できる人材が少なく、外国人住民が日本語を学習する機会や、地域の日本人住民と外国人住民が交流する場が極めて限定されているという問題を抱えている。

このような地域の実情を踏まえ、今年度の人材・養成研修においては、昨年度に引き続き、本市に暮らす地域住民を対象に、①地域における外国人住民の状況や地域に暮らす外国人が抱える問題、②外国人住民と接する際に必要な「やさしい日本語」の指導や日本語指導の概要、③地域における日本語教育のあり方として他地域の日本語教室の事例報告(今年度は、(財)東広島市教育文化振興事業団(広島県東広島市)、香川にほんごネット(香川県)から講師招聘)など、地域の日本語教育に携わる専門家および実際に外国人支援に当たっている市職員により、外国人支援に関する基礎的知識を教授する「(ア)学習研修」と、本市に開設する日本語教室に参加して実際に外国人住民と交流をしながら、生活支援の一環として日本語学習をサポートする方法を実践的に学んでもらう「(イ)実践研修」の2つの研修を行った。

毎回の授業終了時に行うミーティングでの教授者・日本語学習サポーター・コーディネーター・市職員との話し合い、日本語学習サポーター育成研修受講者に対して行った中間・最終アンケート調査の結果(添付資料⑥⑦)により検証を行い、一定の成果を上げることができたことが確認された。

①外国人支援に関する基礎的知識の習得:

日本語学習サポーター育成研修受講者に対するアンケート調査の結果、「(ア)学習研修」に対する評価は良好であり、「外国の方々の現状を知り、日本語教室の時にも相手の立場を考えながら参加することができた」「やさしい日本語」の講座が役に立った。同じような技術を学べる講座があれば受講したい」「外国人の事情や外国人が置かれた環境について学べる講座と、日本語学習現場での基礎的知識が学べる講座がありバランスよく学習できた」などのコメントが寄せられた。

また、今年度は(財)自治体国際化協会・地域国際化推進アドバイザー派遣事業を活用し、「やさしい日本語」に関する市職員向け研修(平成26年2月25日(火))「やさしい日本語～日本語ではじめる多文化コミュニケーション～」講師:土井佳彦氏)を行ったが、一般公開で行われたため、日本語学習サポーターの中で希望する者には参加をしてもらい、サポーターだけでなく外国人支援に携わる市職員の意識啓発活動も行った。

②外国人受講者の日本語学習をサポートする実践的な方法の習得:

日本語学習サポーター育成研修受講者に対するアンケート調査の結果、「(イ)実践研修」に対する評価は良好であり、アンケート回答者全員から「今後も継続して日本語学習サポーターとして日本語教室に参加したい」という回答が得られた。

また、「外国人受講者から質問されるので、教室に参加しても「自分が役に立っている」という感じが持てる」「日本のことを知ってもらうお手伝いだけでなく、自分も海外のことを知ることができてうれしい」「外国の方に日本語を教えることの難しさを再認識しました」「教室に参加することで、日本語教授者から多くのことを学べたことに感謝している。外国人受講者に対して「上から目線」ではなく、その人の人権をきちんと尊重し、細やかなサポートをしておられることがよく分かり、自分自身も気づきがありました」といったボランティア参加を行うことで誰かの役に立っているという喜びだけでなく、教室に参加することで外国人受講者や教室運営に携わるスタッフから良い刺激を受け、ボランティア参加への意欲向上につながっていることが確認された。

③地域の外国人支援活動・多文化共生を推進するための基盤作り:

「地域に根ざした日本語学習サポーター育成研修」の目的は、地域住民が「日本語学習サポーター」として日本語教室に参加し、教室内で外国人受講者の日本語学習においてより細かなサポートを行えるようにするとともに、日本語教室が、外国人住民と日本人住民との交流を促し、「地域住民同士がつながる場」として機能するようなシステムづくりを行い、地域社会に外国人支援活動を根付かせ、多文化共生社会を推進するための基盤作りを行うことであった。

日本語学習サポーターとしての具体的な外国人支援活動は昨年度から開始し、今年度は2年目となるが、昨年度に比べ、サポーターの数が増えたことや、継続して参加するサポーターが新規のサポーターの指導に当たるなど、サポーター同士のつながりも広がりを見せ、昨年度よりもこの仕組みがうまく機能し、地域住民同士のつながりがより強化されているように感じられた。日本語学習サポーター育成研修受講者に対するアンケートから、「スーパーや近所で教室の人たちと会うことがあり、地域のつながりができたことを実感した」「総社に暮らす外国人の方、サポーターの方、市役所職員の方と顔見知りになり、総社を好きになったように思う」「異なる文化、考え方、習慣を理解しあえたことがよかった」「日本語教室のみんなが、地域でつながる、心でつながる友達になれている感じがしました」といったコメントが寄せられ、今回の研修が、外国人支援や多文化共生に対する地域住民の意識啓発につながったものと考えられる。

また、今年度は初めて、地域に長く暮らす日本語の堪能な外国人住民(中国:1名)から、日本語学習サポーターとしての参加があり、昨年度事業から一步前進させる画期的な出来事となった。中国人受講者の通訳が可能だけでなく、外国人という立場でサポート側に回ることで、外国人受講者に安心感を与えることができるため、教室内でも日本人住民とは別の大きな役割を果たすことができた。地域社会における外国人支援活動・多文化共生を推進するためにも、このような外国人住民と日本人住民との懸け橋的存在にもなれる外国人住民の存在は貴重であり、今後も引き続き、人材発掘に力を入れ、日本語教育事業の中で積極的に活用していきたいと考えている。

(11) 改善点について

毎回の授業終了時に行うミーティングでの教授者・日本語学習サポーター・コーディネーター・市職員との話し合い、毎月1回行うコーディネーター・教授者・市職員との打ち合わせ会、教授者に対して行った中間および最終アンケート調査の結果(添付資料⑧⑨)により、取り組み内容や実施体制などについて検証を行った。

①日本語学習サポーター育成研修のあり方について:

H22年度から開始した本市日本語教育事業における人材育成・養成研修において、H22年度・H23年度の2年間は、日本語教室で日本語を教授するボランティア日本語教師養成のための講座を開設してきた。しかし研修終了後に、ボランティア日本語教師として教壇に立てるような人材が育たなかったこと、また、外国人との接触の少ない本市の地域住民にとって、外国人に接することそのものが心理的にハードルの高い活動であることが明らかとなったため、昨年度から、人材の養成・研修において、外国人支援に関する基礎的知識を教授する「学習研修」と、地域住民が「日本語学習サポーター」として日本語教室に教授者の補助的存在(=サポーター)として参加する「実践研修」の2つから構成される研修を実施することとした。

昨年度の研修では、参加率がなかなか向上せず、外国人と接することに対する地域住民の心理的抵抗の大きさを改めて痛感し、今年度においても一部のサポーターの中には同様な状況が見受けられたが、今年度はサポーター参加者も増え、毎回の参加人数も安定しており、「日本語学習サポーター」として外国人受講者の日本語学習をサポートするという仕組みがうまく機能し始めたように感じられた。このことは、昨年度の課題として掲げた「新規日本語学習サポーターの開拓」と「継続的なサポーター確保」に対して行った工夫が功を奏した結果であったと考えられる。

また、サポーターの中から「もっと漢字を勉強したい」という個別な要望に応じてあげられる方法があればよいと思う」「日本語を教えるスキルをもっと知りたい。そうすればもっと積極的に外国人の方とコミュニケーションを取ることができ、サポーターとして成長できると思う」といった、単に外国人との交流を求めるのではなく、「日本語を教える」ということに対し前向きな意向が示されたことは大きな前進であった。今後事業を運営していく中で、少しずつ、このような要望に応えられるよう、意見を取り入れながら検討していきたい。

②日本語学習サポーターの位置づけと今後の方向性について:

日本語教室に日本語学習サポーターとして地域住民が参加するというプログラムは、昨年度初めて実施した試みであり、今年度も引き続き行った。昨年度は、教授者にとっても、日本人住民がボランティアで教室に参加する形態は初めての経験であったため、当初はサポーターの扱いに苦慮したが、回数を重ねるごとに教授者・サポーターともに慣れてきて、授業の後半あたりからはスムーズに教室活動ができるようになった。今年度は、昨年度からの継続であるので、教室開始当初からかなり円滑に教室活動が行え、また、昨年度からの継続サポーターが新規で参加するサポーターを指導するなど、サポーター同士のつながりも広がり、非常に良い関係性が構築できた。

だが一方で、昨年度の課題にも挙げたように、日本語教室において教授者の補助的存在として日本語教室に参加する「日本語学習サポーター」の育成を続けるだけでは、研修受講者が研修終了後に、地域の日本語教室において日本語の教授者として活動することは極めて難しく、地域の日本語教育を今後どのように構築し、継続していけばよいのか検討しなければならない。

総社市は1990年以後、ニューカマーの来日により外国人が増えた地域で、人口比率の点からも外国人集住地域ではなく散住地域であるため、地域住民の外国人との接触経験は少なく、外国人支援の歴史も浅く、多文化共生に対する意識も低い。また、本市には日本語を教えることのできる人材も少なく、ボランティアによる日本語教室もほとんどない。そのような地域で、いきなり日本語を教える人材を育てようにも、ましてやボランティアグループを作ろうにも、容易ではないという現状がある。

今後の方向性としては、将来的に、日本語学習サポーターが自立し、本市でボランティアグループを作るなど、自律的に活動してくれるようになることを目標に掲げ、人材の確保・育成など、実現に近づけるための工夫を少しずつ行っていきたく考えている。

③日本語学習サポーター育成研修の受講者の受け入れ体制について：

本市では日本語教室に参加する外国人受講者だけでなく、日本語学習サポーターも同様に、小さな子供のいる家庭でも研修に参加できるよう、無料で保育・託児を設けており、この点については託児を必要とする受講者に好評であった。また、受講者が日本語教室に参加する場合には、教室活動中の安全確保のための「ボランティア活動保険」への加入と、受講者間でのトラブル回避のため、「総社市日本語学習サポーター誓約書」(添付資料⑩)の提出、また、今年度新たに、近年のSNS普及によるネット上でのトラブル回避のため「総社市日本語教室肖像権使用同意書」(添付資料⑪)の提出を求めた。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

(1) 教材名称

総社市日本語教室編 『地域でつながる日本語教室2013』

(2) 対象

地域に居住する外国人住民。ゼロ初級レベルを想定。母語は限定しない。

(3) 目的・目標

地域に暮らす外国人住民が、生活に必要な日本語の語彙・表現や日本の文化・習慣を学ぶとともに、地域生活に不可欠な行政情報・生活情報を得ることのできる学習教材を作成し、継続的・自律的に日本語学習を行い、地域社会で安心した生活を送り、地域社会への積極的参加を促すことができるようにする。

(4) 構成・総ページ数

総ページ数は190頁。【本編】のほか、付録として【ひらがな・カタカナ一覧表】【漢字練習シート】【総社市日本語教室でのイベント】から構成。表記は横書き、漢字かな交じり(カタカナ・漢字には総ルビ。適宜ローマ字表記)とした。

以下の学習教材内容は、文化審議会国語分科会策定の「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案に基づき、地域の特性を生かした日本語教育プログラムとして策定した「平成25年度総社市版「生活者としての外国人」に対する日本語教育カリキュラム」(30単位:添付資料①)に従い、作成した学習シラバスに沿って構成されている。

本編、付録編に記載の内容(目次)は、以下の通りである。

【本編】

H25ちいきでつながるにほんごきょうしつ、1. 自己紹介、2. 総社市役所で、3. ごみを出す、4. 買い物をする、5. レストランへ行く、6. 乗り物にのる、7. 交通マナーを守る、8. 道をたずねる、9. 災害が起こったら、10. 110番・119番に電話する、11. 病院へ行く、12. 仕事をする、13. 学校に通う、14. 図書館を利用する、15. 結婚式・お葬式に行く、16. 地域を知る、17. 日本の一年、18. 引っ越しのあいさつをする

【ひらがな・カタカナ一覧表】

【漢字練習シート】

自己紹介の漢字、市役所でつかう漢字(1)(2)、ごみ出しの漢字、買い物の漢字(1)(2)(3)、マニュアルの漢字、事件・事故の漢字(1)(2)、病院の漢字(1)(2)、薬の漢字、乗り物の漢字、交通の漢字(1)(2)、防災の漢字(1)(2)、観光の漢字、総社の漢字、学校の漢字、仕事の漢字(1)(2)、図書館の漢字、冠婚葬祭の漢字、年中行事の漢字

【総社市日本語教室でのイベント】

「か」からはじまることばゲーム、伝言ゲーム、ごみの出し方を学ぶ、七夕の短冊に書く、盆踊りの練習をする、「雪舟くん」の使い方、書道を習う、日本語教室の展示をする、病院を見学する、交通ルールを知る、警察署を見学する、茶道を習う、防災訓練に参加する、図書館を利用する、年賀状を書く、獅子舞を見る、消火訓練をする

(5) 教材作成会議の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成25年5月16日(木) 14:00～17:00	3時間	岡山大学文学部	中東 靖恵 小川 宏子 船曳 清美 高崎 倫江 高田 聡 三浦 温子	シラバス・授業内容確認と教材構成について	6月分のシラバス・授業内容についての確認を行い、教材作成の方向性、全体の構成、作成に当たっての年間スケジュールの確認を行った。
2	平成25年6月20日(木) 14:00～17:00	3時間	岡山大学文学部	中東 靖恵 小川 宏子 船曳 清美 高崎 倫江 高田 聡 三浦 温子	シラバス・授業内容確認と教材内容について	6月分授業の反省、7月分のシラバス・授業内容についての確認を行い、教材の内容について検討を行った。
3	平成25年7月25日(木) 14:00～17:00	3時間	岡山大学文学部	中東 靖恵 小川 宏子 船曳 清美 高田 聡 三浦 温子	シラバス・授業内容確認と教材内容について	7月分授業の反省、8月分のシラバス・授業内容についての確認を行い、教材の内容について検討を行った。
4	平成25年8月22日(木) 14:00～17:00	3時間	岡山大学文学部	中東 靖恵 小川 宏子 高田 聡 三浦 温子	シラバス・授業内容確認と教材内容について	8月分授業の反省、9月分のシラバス・授業内容についての確認を行い、教材の内容について検討を行った。
5	平成25年9月19日(木) 14:00～17:00	3時間	岡山大学文学部	中東 靖恵 小川 宏子 船曳 清美 高崎 倫江 高田 聡 三浦 温子	シラバス・授業内容確認と教材内容について	9月分授業の反省、10月分のシラバス・授業内容についての確認を行い、教材の内容について検討を行った。
6	平成25年10月24日(木) 14:00～17:00	3時間	岡山大学文学部	中東 靖恵 小川 宏子 船曳 清美 高崎 倫江 高田 聡 三浦 温子	シラバス・授業内容確認と教材内容について	10月分授業の反省、11月分のシラバス・授業内容についての確認を行い、教材の内容について検討を行った。
7	平成25年11月21日(木) 14:00～17:00	3時間	岡山大学文学部	中東 靖恵 小川 宏子 船曳 清美 高崎 倫江 三浦 温子	シラバス・授業内容確認と教材内容について	11月分授業の反省、12月分のシラバス・授業内容についての確認を行い、教材の内容について検討を行った。
8	平成25年12月19日(木) 14:00～17:00	3時間	岡山大学文学部	中東 靖恵 小川 宏子 船曳 清美 高崎 倫江 高田 聡 三浦 温子	シラバス・授業内容確認と教材内容について	12月分授業の反省、1月分のシラバス・授業内容についての確認を行い、教材の内容について検討を行った。
9	平成26年1月23日(木) 14:00～17:00	3時間	岡山大学文学部	中東 靖恵 小川 宏子 船曳 清美 高崎 倫江 高田 聡 三浦 温子	シラバス・授業内容確認と教材内容について	1月分授業の反省、2月分のシラバス・授業内容についての確認を行い、教材の内容について検討を行った。

10	平成26年2月20日(木) 14:00～17:00	3時間	岡山大学文学部	中東 靖恵 小川 宏子 船曳 清美 高崎 倫江 高田 聡	シラバス・授業内容確認と教材内容について	2月分授業の反省、3月分のシラバス・授業内容についての確認を行い、教材の内容について検討を行った。
11	平成26年3月13日(木) 14:00～17:00	3時間	岡山大学文学部	中東 靖恵 小川 宏子 船曳 清美 高田 聡 三浦 温子	教材内容の最終確認	3月分授業の反省および日本語教室の全体的な課題について話し合いを行うとともに、教材の内容について最終確認を行った。

(6) 使い方

本市日本語教室における教室活動は、大きく、以下の3つによって構成されている。

- ①生活に必要な日本語表現の習得・コミュニケーション能力の向上を行う活動
 - ②地域社会で安心して暮らすために必要な地域の生活情報・行政情報の提供・周知
 - ③イベントやゲームを通じた日本語学習・日本語使用促進活動
- ①の活動においては主に【本編】を利用し、各クラスのレベルに応じた会話練習を行う。
②の活動においては、【本編】に記載した総社市の生活情報・行政情報を利用するとともに、各種情報を獲得するための文字習得においては、付録の【ひらがな・カタカナ一覧表】(クラスⅠ用)と、教授者がオリジナルに作成した「生活場面に即した漢字」をまとめた【漢字練習シート】(クラスⅡ用)を利用する。
③の活動事例は【総社市日本語教室でのイベント】に記載した。

(7) 具体的な活用例

本教材を利用した活用例として「第2回：総社市役所に電話して外国人相談員を呼ぶ」(平成25年6月16日(日)実施)の授業内容を紹介する。

- ①【本編】p.9～14のスクリプトを利用し、総社市役所に電話をするために必要な表現を学ぶ。
- ②日本語学習サポーターとペア練習を行う。
- ③日本語教室の運営スタッフである市職員を相手に実践練習を行う。
- ④【本編】p.9～12に記載の総社市役所にある外国人相談窓口の場所を確認し、相談時間や連絡先についての情報を得る。
- ⑤クラスⅠは【ひらがな・カタカナ一覧表】を利用してひらがなの学習、クラスⅡは【漢字練習シート】に記載の「市役所であつかう漢字」を利用して漢字の学習(書き順も)を行う。
- ⑥クラスⅠとクラスⅡの合同イベントとして、「伝言ゲーム」を行った。授業で習った「もしもし、総社市役所ですか?」を伝言していき、伝言内容をきちんと聞き取れ、書きとれるか確認を行った。その様子は【総社市日本語教室でのイベント】に掲載。

(8) 成果物の添付

電子データにて送付。

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

地域に暮らす外国人住民が、日本人住民との交流を通して、日本での生活を円滑に行うために必要な日本語の習得とコミュニケーション能力の向上を図りながら、地域社会で暮らすために必要な生活情報・行政情報を得ることのできる場を設けるとともに、言葉の壁によって地域社会と孤立しがちな外国人住民の生活を、隣人としてサポートする地域の人材を育成し、外国人住民が自立し、地域社会の一員として積極的に社会参加できるよう地域全体が支える多文化共生のまちづくりを目指す。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

今年度「総社市地域参加型生活サポート日本語教育事業」においては、以下の3つの取り組みを行った。

- ①日本語教室の設置・運営：「地域でつながる日本語教室」
- ②日本語教育を行う人材の養成・研修：「地域に根ざした日本語学習サポーター育成研修」
- ③日本語教育のための学習教材の作成：「地域密着型日本語学習教材作成事業」

各取り組みについての目標達成状況・事業の成果については、毎回の授業終了時に受講者が記入する「活動記録」、ミーティングでの教授者・日本語学習サポーター・コーディネーター・市職員との話し合い、毎月1回行うコーディネーター・教授者・市職員との打ち合わせ会、日本語教室受講者・日本語学習サポーター・教授者に対して行った中間および最終アンケート調査の結果(添付資料④～⑨)により検証を行い、一定の成果を上げることができたことが確認された。

①日本語教室の設置・運営:

「地域でつながる日本語教室」は、地域に暮らす外国人住民が日常生活に必要な日本語の習得やコミュニケーション能力の向上を図りながら、日本人住民との交流を通じて実践的な日本語の運用能力を身につけるとともに、日本の文化・習慣および医療・防災などの行政情報を得、地域住民としての自立と地域社会への積極的参加を促すことができるよう、地域住民同士がつながる場を提供することを目的として、H22年度より継続的に開設している日本語教室である。

本取り組みにおいては、日本で生活を円滑に行うために必要な日本語コミュニケーション能力の向上、地域に密着した生活情報の獲得、地域住民同士がつながる場の提供、地域の外国人支援活動・多文化共生を推進するための基盤作り、外国人住民の自立支援を行うための試み、という点において一定の成果が認められた。

今年度日本語教育事業は、昨年度の反省を踏まえ、受講者のニーズの高いもの、より頻度の高い生活場面をより重点化するなど改良を行った「平成25年度総社市版「生活者としての外国人」に対する日本語教育カリキュラム」に従って授業シラバスを作成し、昨年度から継続して日本語教室に参加する受講者がいることから、各テーマを担当する日本語教授者を昨年度とできるだけ入れ替え、授業内容にバリエーションを持たせるよう工夫した。また、受講者の学習意欲を継続させるため、毎月1度のコーディネーター・教授者・市職員による打ち合わせ会において授業の反省・課題検討を行うとともに、受講者だけでなく、日本語学習サポーター、日本語教授者を含め、教室に参加する人すべてが楽しく教室活動に取り組めるよう、授業内容や授業の方法においてさまざまなアイデアを出し合った。さらに、日本語教授者に対しては、本市が抱える日本語教育の問題に対する理解を深め、日本語教育事業を円滑に行うことを目的に、「指導力評価」のチェック(添付資料⑫)を3度(日本語教室開始前、中間期、終了後)行ってもらい、本市に開設する「地域に根ざした日本語学習サポーター研修」にも積極的に参加してもらうよう促した(添付資料⑬)。「日本語教室に携わるスタッフ全員で議論を積み重ね、教室運営に関わる数々の工夫を行った結果、昨年度と同じ授業テーマであっても、受講者だけでなく、日本語教授者、日本語学習サポーターも飽きることなく授業に取り組むことができ、それは結果的に、毎回の参加者数の安定につながり、極めて円滑な授業運営を行うことができた。

今後も継続して日本語教室を開設して欲しいという強い要望が受講者から寄せられており、来年度以後も引き続き、現行の体制を維持しながら行っていきたい。

②日本語教育を行う人材の養成・研修:

「地域に根ざした日本語学習サポーター育成研修」は、地域住民を対象に、言葉の壁によって地域社会と孤立しがちな外国人住民の生活支援の一環として、日本語学習をサポートする方法について実践的な研修を行い、地域社会に暮らす隣人として外国人住民を支える「日本語学習サポーター」を育成することにより、外国人支援活動を根付かせ、地域の多文化共生活動を推進するための基盤作りを行うことを目的として、昨年度から新たに開設し、今年度も引き続き行った。

本取り組みにおいては、外国人支援に関する基礎的知識の習得、外国人受講者の日本語学習をサポートする実践的な方法の習得、地域の外国人支援活動・多文化共生を推進するための基盤作りという点において一定の成果が認められた。また、今年度は初めて、地域に長く暮らす日本語の堪能な外国人住民(中国:1名)から、日本語学習サポーターとしての参加があり、昨年度事業から一歩前進させる画期的な出来事となった。このような外国人住民と日本人住民との懸け橋的存在にもなれる外国人住民の存在は貴重であり、今後も引き続き、人材発掘に力を入れ、日本語教育事業の中で積極的に活用していきたいと考えており、今後も継続して日本語学習サポーター育成研修を行っていききたい。

③日本語教育のための学習教材の作成:

「地域密着型日本語学習教材作成事業」は、地域に暮らす外国人住民が、生活に必要な日本語の語彙・表現や日本の文化・習慣を学ぶとともに、地域生活に不可欠な行政情報・生活情報を得ることのできる学習教材を作成し、継続的・自律的に日本語学習を行い、地域社会で安心した生活を送り、地域社会への積極的参加を促すことができるようにすることを目的として行われた。

本学習教材を利用して、生活に必要な日本語表現の習得・コミュニケーション能力の向上を行う活動、地域社会で安心して暮らすために必要な地域の生活情報・行政情報の提供・周知、イベントやゲームを通じた日本語学習・日本語使用促進活動を日本語教室内で行うことができたとともに、今後、地域の日本語教育活動を継続するためにも有効利用できると考えられる。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

今年度日本語教育事業は、昨年度の反省を踏まえ、受講者のニーズの高いもの、より頻度の高い生活場面をより重点化するなど改良を行った「平成25年度総社市版「生活者としての外国人」に対する日本語教育カリキュラム」に従い、学習シラバス(2時間×35回=70時間)を作成し、①日本語教室の設置・運営、②日本語教育を行う人材の養成・研修、③日本語教育のための学習教材の作成のすべての取り組みに活用した。今年度は昨年度よりも授業回数が多く行えたため(H24年度:30回、H25年度:35回)、昨年度よりも重要な授業テーマについてはじっくりと取り組むことができた。また、昨年度から継続して日本語教室に参加する受講者がいることから、各テーマを担当する日本語教授者を昨年度とできるだけ入れ替え、授業内容にバリエーションを持たせるよう工夫した。こうした工夫により、昨年度と同じ授業テーマであっても、受講者だけでなく、日本語教授者、日本語学習サポーターも飽きることなく授業に取り組むことができた。

日本での生活を円滑に行うために必要な日本語の習得とコミュニケーション能力の向上を図りながら、地域に密着した生活情報を得ることのできる授業内容は、外国人受講者および日本語学習サポーターにも大変好評であった。「生活者としての外国人」が地域社会の一員として積極的に参加できるよう地域全体が支える多文化共生のまちづくりを目指す本市の日本語教育事業のニーズに合致したものであると考えられることから、今後も引き続き利用したい。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果等

①総社市各担当部署との連携:

日本語教室における外国人向け体験学習・講習会の実施は、総社市各担当部署との連携により行われている。今年度事業においては、以下の体験学習・講習会を実施した。

- 環境課美化推進係によるゴミ分別講習(平成25年6月23日)
- 総社市主催の夏祭りのための盆踊りの練習(平成25年7月7日)
- 総社市主催の夏祭り「雪舟フェスタ」への参加(平成25年8月3日)
- 人権・まちづくり課安全安心係による「雪舟くん」利用講習(平成25年7月14日)
- 人権・まちづくり課安全安心係・総社警察署による交通安全講習(平成25年9月29日)
- 総社警察署による防犯教室(平成25年10月27日)
- 総社市防災訓練への参加(平成25年11月17日)
- 総社市図書館司書による図書館利用講習(平成25年12月15日)
- 総社市消防本部による消防署見学・消火訓練(平成26年1月26日)

②岡山県内のNPO、各種機関・団体との連携:

その他日本語教室における生活情報・行政情報の提供は、岡山県内のNPO、各種機関・団体との連携により行われている。今年度事業は以下の通りである。

- 徳眞書道教室講師による日本語教室での書道講習(平成25年8月4日)
- AMDA国際医療情報センターとの協働事業で作成された『総社市多言語医療ガイド』(5か国語版)を利用した授業の実施(平成25年9月1日、11月24日、平成26年2月2日)
- 高杉こどもクリニックでの病院見学・受診体験(平成25年9月8日)
- 茶道講師による茶道講座(平成25年11月10日)
- 公設国際貢献大学校(新見市)との連携による外国人防災リーダー養成研修(平成25年11月9日～10日、平成26年2月9日)
- (財)自治体国際化協会・地域国際化推進アドバイザー派遣事業による「やさしい日本語～日本語ではじめる多文化コミュニケーション～」をテーマとする市職員向け研修(平成26年2月25日)(添付資料⑱)

③岡山県内および近隣地域の日本語教室・日本語教育専門家との情報交換・交流活動

日本語教育事業の発展・活性化を図るため、近隣地域との相互連携・人的交流・情報交換を行い、地域間相互ネットワークの形成を試みている。今年度活動は以下の通りである。

- (財)東広島市教育文化振興事業団・東広島市日本語教室からの講師招聘・交流会(平成25年6月16日)
- 岡山大学言語教育センターからの講師招聘(平成25年6月30日)
- 東かがわ市国際交流協会による総社市日本語教室視察(平成25年7月21日)
- 岡山ビジネスカレッジ講師による総社市日本語教室視察(平成25年9月15日)
- 香川にほんごネットからの講師招聘(平成25年9月29日)
- 亀市城乾小学校国際教室による総社市日本語教室視察(平成25年9月29日)
- 九州外国語学院による総社市日本語教室視察(平成25年9月29日)
- 岡山市内の公民館での日本語教室展示パネルの再展示
 - 岡輝公民館 平成25年10月4日～12月10日
 - 旭公民館 平成25年12月13日～平成26年1月11日
 - 操南公民館 平成26年1月14日～26日
 - 上南公民館 平成26年2月3日～17日
 - 上道公民館 平成26年2月18日～3月6日

- ノートルダム清心女子大学文学部准教授による総社市日本語教室視察(平成25年12月1日)
- 津山にほんごの会による総社市日本語教室視察(平成26年2月2日, 16日)

④総社市日本語教育事業に関する情報発信・発表報告

- 文化庁第53回文化審議会国語分科会日本語教育小委員会での報告(平成25年7月1日)
- 香川にほんごネットでの講演(平成25年7月15日)(添付資料⑯)
- 文化庁日本語教育研究協議会でのポスターセッション(平成25年11月2日)(添付資料⑰)
- (財)自治体国際化協会『自治体国際化フォーラム』2013年12月号への寄稿「外国人市民と共に築く多文化共生のまちづくり」(pp.38-39)(添付資料⑱)
- 広島県呉市教育委員会での多文化共生に関するボランティア研修(平成26年3月23日)

(5) 改善点, 今後の課題について

各取り組みについての改善点, 今後の課題については, ミーティングでの教授者・日本語学習サポーター・コーディネーター・市職員との話し合い, 毎月1回行うコーディネーター・教授者・市職員との打ち合わせ会, 日本語教室受講者・日本語学習サポーター・教授者に対して行った中間および最終アンケート調査の結果(添付資料④~⑨)により検証を行い, 取り組み内容や実施体制などにつき, 以下の課題があることが確認された。

①日本語教室の設置・運営について:

「地域でつながる日本語教室」の設置・運営においては, ①日本語教室の授業内容・教授方法(総社市日本語教室での日本語教育カリキュラム・シラバス, 1回完結型の文法積み上げ式でない授業形態について), ②日本語教室の運営・実施体制(教授者5人によるローテーション体制, 日本語学習サポーターの教室参加, 日本語教室における通訳について), ③日本語教室の受講者(受講者の参加率・継続率の向上, 受講者の多国籍化・属性の多様化について)に関して, 今後も改善に向け努力したい。

②日本語教育を行う人材の養成・研修について:

「地域に根ざした日本語学習サポーター育成研修」においては, ①日本語学習サポーター育成研修のあり方について, ②日本語学習サポーターの位置づけと今後の方向性について, ③日本語学習サポーター育成研修の受講者の受け入れ体制について, 今後も改善に向け努力したい。

③日本語教育のための学習教材の作成について:

「地域密着型日本語学習教材作成」は, 文化審議会国語分科会策定の「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案に基づき, 地域の特性を生かした日本語教育プログラムとして策定した「平成25年度総社市版「生活者としての外国人」に対する日本語教育カリキュラム」(30単位: 添付資料①)に従い, 学習シラバス(2時間×35回=70時間)に沿って行われた。今年度の反省を踏まえ, 受講者のニーズの高いもの, より頻度の高い生活場面などは教材の量を増やしたり, 同じテーマであっても会話スクリプトや表現・語彙のバリエーションを増やすなど, より現状に合わせた改善を行っていききたい。

④日本語教育事業の実施体制について: 日本語教室コーディネーターの配置

昨年度に引き続き, 今年度日本語教育事業においても, 日本語教室コーディネーターの配置を行い, より円滑な日本語教育事業が行える体制を整えた。本市日本語教育事業運営における実施体制の大きな特徴は, 行政が日本語教育事業の事業主体であるため, 総社市各担当部署との連携, および, 岡山県内のNPO, 各種機関・団体との連携体制ができており, 地域に暮らす「生活者としての外国人」にとって必要な行政情報の提供が適切, かつ, スムーズに行えること, また, 外国人市民と日本人市民との交流を促進し, 地域住民同士がつながる場として日本語教室の設置・運営をすることが, 地域の外国人支援活動・多文化共生を推進するための基盤作りに直結すること, これが最大のメリットである。

一方で, 行政に日本語教育の専門に携わる職員がいないことから, 事業の方向性や日本語教育の現状・ニーズ把握, 日本語教師との連携という事業運営上, 意見・見解の相違が起こることが多々あること, また, 岡山県内および近隣地域の日本語教室・日本語教育専門家との情報交換・交流活動を円滑に行えないという実情がある。こうした行政と日本語教育関係者との間を取り持ち調整し, 両者の見解の相違を解消, 円滑な関係作りを行うのが, 日本語教室コーディネーターの存在である。総社市日本語教室コーディネーターは, ①事業主体である総社市(国際・交流推進係), ②日本語教授者である日本語教師, ③日本語学習を必要とする外国人住民, ④日本語学習サポーターとなる日本人住民をつなぐ『架け橋』的存在であり, これら4者との相互連携・調整役を担い, 本市における日本語教育の方向性を見極める重要な役割を持つ。

日本語教育事業におけるコーディネーターの存在は不可欠であり, 今後の本市事業運営においても, コーディネーターを配する実施体制を維持していきたい。

⑤今後の日本語教育事業の方向性:多文化共生社会を実現できるまちづくりを目指して

今年度「総社市地域参加型生活サポート日本語教育事業」として掲げた目標は、ある一定の水準において達成され、様々な点において昨年度からの事業進展が見られた。今後の日本語教育事業の方向性と、事業主体である本市が担うべき役割は、地域に暮らす外国人住民が継続的・自律的に日本語学習を行いながら、日本人住民との相互交流を通して、地域住民同士が繋がる場を提供し、多文化共生への意識啓発・意識醸成を図りながら、継続的に外国人支援を担っていく人材の育成と、外国人住民の自立と社会参加を支援する基盤システムとしての役割を果たすとともに、近隣地域との相互連携を強化し、有機的な人的交流・情報交換が行える地域間相互ネットワークを形成することにより、「多文化共生社会を実現できるまちづくり」を可能にする国際交流と相互理解の中核的拠点として、地域社会に貢献していくことである。

(6) その他参考資料

【カリキュラム】

①平成25年度総社市版「生活者としての外国人」に対する日本語教育カリキュラム

【チラシ】

②日本語教室受講者用募集チラシ

③日本語学習サポーター育成研修受講者募集チラシ

【アンケート】

④日本語教室受講者用中間アンケート結果

⑤日本語教室受講者用最終アンケート結果

⑥日本語学習サポーター用中間アンケート結果

⑦日本語学習サポーター用最終アンケート結果

⑧日本語教授者用中間アンケート結果

⑨日本語教授者用最終アンケート結果

【その他】

⑩総社市日本語学習サポーター誓約書

⑪総社市日本語教室肖像権使用同意書

⑫日本語教授者用「指導力評価チェックリスト」

⑬日本語教授者用「研修受講の記録」

【広報・発表関係資料】

⑭広報そうじゃ2013年7月号(2013年6月2日:第1回日本語学習サポーター育成研修)

⑮広報そうじゃ2013年10月号(2013年9月8日:日本語教室での病院見学)

⑯香川にほんごネットでの講演資料(平成25年7月15日)

⑰文化庁日本語教育研究協議会でのポスターセッション資料(平成25年11月2日)

⑱(財)自治体国際化協会『自治体国際化フォーラム』2013年12月号への寄稿「外国人市民と共に築く多文化共生のまちづくり」(pp.38-39)

⑲(財)自治体国際化協会・地域国際化推進アドバイザー派遣事業による「やさしい日本語～日本語ではじめる多文化コミュニケーション～」をテーマとする市職員向け研修(平成26年2月25日)

H25年度総社市版「生活者としての外国人」に対する日本語教育カリキュラム

大分類	中分類	小分類	事例1(上位項目)	事例2(下位項目)	単位数		
I 健康・安全に暮らす	01 健康を保つ	(01) 医療機関で治療を受ける	0101 適切な医療機関を選択する	0101020 症状に合わせて適切な病院・医院を探す	3		
			0102 問診表に記入する	0102010 初診受付で手続きをする			
			0103 医者の説明・指示を理解し、応答する	0103010 医者の診察を受ける			
		(02) 薬を利用する	0201 処方せんを持って薬局へ行く	0201020 医療機関で処方せんをもらい、内容を確認する			
			0202 薬局・薬店を利用する	0202050 症状を説明し、薬を求める			
			0203 薬の説明を理解し、適切に利用する	0203070 薬剤師等の「効能、用法、注意」の説明を理解する			
	(03) 健康に気を付ける	0301 病気を予防する	0301090 流行性の病気についての情報を理解し適切に対処する				
		02 安全を守る	(04) 事故に備え、対応する	0403 犯罪に対処する		0403020 110番に電話する	2
				0404 交通事故に対処する		0403040 近くの人に知らせる	
	(05) 災害に備え、対応する	0404010 救急車(119番)に通報する	0404090 適当な人に助けを求め、けが人がいる場合は応急措置を取る	0501 避難場所・方法を確認する		0501030 避難場所・方法を理解する・人に聞く	3
				0502 地震発生時に適切に行動する		0502010 地震について理解する	
				0503 台風発生時に適切に行動する		0503010 台風について理解する	
				0504 火災発生時に適切に行動する		0503020 天気予報・台風情報に留意し理解する	
	0603030 緊急の避難や消火に対応する	0603040 火災・救急(119番)や警察(110番)に電話する					
	II 住居を確保する・維持する	03 住居を確保する	(06) 住居を確保する	0603 引っ越しをする		0603100 退去時・入居時にあいさつをする	1 1
III 消費活動を行う	05 物品購入・サービスを利用する	(08) 物品購入・サービスを利用する	0801 対面販売で購入する	0801020 必要な品物を扱う店等を探す	4 4		
				0801080 売り場を尋ねる			
			0802 飲食店を利用する	0801100 店員に商品について尋ねる			
				0802080 店で人数や禁煙喫煙などの希望を伝える			
			0802120 メニューを選んで注文する	0804040 新聞広告・折り込み広告を理解する			
			0804 商品情報(素材、注意書き等)について理解する	0805050 レシートを理解する			
0805 購入額を確認・計算する							
IV 目的地に移動する	07 公共交通機関を利用する	(10) 電車、バス、飛行機、船等を利用する	1001 時刻表を確認する	1001020 発車する時刻やかかる時間を尋ねる	3 3		
			1002 路線図を確認する	1002060 目的地への行き方を尋ねる			
			1004 運賃を支払う・切符を購入する	1004100 窓口を利用する			
	08 自力で移動する	(11) タクシーを利用する	1101 タクシーを呼ぶ	総社市デマンドタクシー「雪舟くん」を予約する			
			(12) 徒歩で移動する	1201 住所・番地を確認する		1201030 住所表示、交差点名、街の案内地図などを読む	
				1204 道を聞く		1204040 目的地までの道を尋ねる	
(14) 車・オートバイ等を使用する	1402 道路交通法を遵守する	1402080 標識や信号を理解する					
V 子育て・教育を行う	10 子供に教育を受けさせる	(20) 小・中・高等学校で教育を受けさせる	2001 就学に関する手続きを行う	2001010 学校の制度について理解する	1 1		
VI 働く	11 仕事を探す	(22) 就職活動をする	2201 情報収集をする	2201080 広告、情報紙WEB、ロコミ、ハローワーク等を活用する	2 2		
			2202 応募する(面接を受ける)	2202030 人事担当者に電話で問い合わせる			
				2202130 履歴書を書く			
	13 仕事に役立つ能力を育てる	(30) 職場の人間関係を円滑にする	3001 あいさつをする	3001010 あいさつの種類と目的を理解する			
			3003 誘う、誘われる	3003050 誘いを受ける・断る			
VII 人とかかわる	14 他者との関係を円滑にする	(31) 人と付き合う	3101 あいさつをする	3101080 日常のあいさつをする	3 3		
				3101090 年賀状や暑中見舞いをやりとりする			
			3102 自己紹介をする	3102070 私的な場面で自己紹介をする			
			3103 日本の一般的なマナーを理解し、マナーにのっとって行動する	3103080 冠婚葬祭の習慣を知る			
VIII 社会の一員となる	15 地域・社会のルール・マナーを守る	(33) 住民としての手続きをする	3301 各種手続(転入・転出・外国人登録等)をする	3301060 書類に記入する	3 3		
				3301080 役所の受付で外国人登録窓口の場所を尋ねる			
			(34) 住民としてのマナーを守る	3401 ゴミ出し(ゴミの分け方)について理解する		3401040 居住地域のゴミ出しについて地域の公的機関で発行している生活情報パンフレット等で確認し理解する	
	3402 公共マナー(ポイ捨て禁止、歩きタバコ禁止等)を理解する	3402020 公共マナーにおける文化の相違について理解する					
	3501 自治会行事に参加・協力する	3501100 行事に参加する					
	16 地域社会に参加する	(35) 地域社会に参加する					
IX 自身を豊かにする	19 学習する	(42) 日本語を学習する	4202 日常生活の中で日本語を学習する	4202080 日本語教室や国際交流イベントに参加する	4 4		
			20 余暇を楽しむ	(44) 余暇を楽しむ		4401 外出や余暇の計画を立てる	4401010 余暇を過ごす場所や利用方法を知る
	4403 地域の公共施設(図書館、スポーツセンター等)を利用する	4403020 公共施設の種類と利用方法を理解する					
X 情報を収集・発信する	21 通信する	(47) 電話・ファクシミリを利用する	4701 電話・ファクシミリを発信する	4701140 電話の会話を開始したり終えたりする際の定型的な表現に慣れる	1 1		
			4702 電話・ファクシミリを受信する	4702110 聞き取れなかったのを聞き返す			

おひょう
無料
GRATUITO
Free
免费

AULAS DE JAPONÊS 日语教室
일본어 교실 JAPANESE CLASS
Darasa la Kijapani Klasa ng Wikang Hapon

ちいさでつながる にほんごきょうしつ

2013^{ねん} 6^{がつ} 9^{にち} (にちようび) ~
まいしゅう にちようび AM9:30~11:30



◆^{ちい}さい ^こどもを ^{あず}けて ^{べん}きょう ^できます。

Enquanto cuidamos das crianças, pais ou responsáveis poderão estudar sem preocupações.

We take care of the children while the parents study.

这个教室附设免费托儿所。



にほんごきょうしつ の ばしょ mapa/map/地図

そうじゃし ほけんせんたー 2F
 Atrás da Prefeitura de Soja
 Soja Health center
 总社市保健中心



にほんごきょうしつ カレンダー calendário/calendar/教室日历

6がつ

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

7がつ

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8がつ

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9がつ

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

10がつ

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11がつ

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12がつ

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

1がつ

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2がつ

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

3がつ

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

まいゅうにちようび
毎週日曜日9:30~11:30
TODOS DOMINGOS
Every Sunday 毎星期天

もうしこみ inscrições/inscription/提出处

そうじゃしやくしよ じんけん・まちづくりか (総社市役所 人权・まちづくり課)
 こくさい・こうりゆうすいしんかかり (国際・交流推進係)
 Prefeitura de Soja Seção de Urbanização Municipal e Direitos Humanos
 SojaCity, Human rights & Community planning and development division
 总社市役所 人权・まちづくり課 国际交流推进系



そうじゃし ちゅうおう 1ばん 1ごう Soja-shi Chuo1-1-1 / 总社市中央 1-1-1
 Tel (0866) 92-8242 Fax (0866) 93-9479

地域に根ざした

無料
託児付

日本語学習サポーター 育成研修

6月2日(Sun)
START!

地域社会で日本人住民とともに暮らしていくために、日本語の学習を必要とする外国人住民をサポートする方法を、実践的に学びます。

外国人支援に関する基本的な知識を身につける「①学習研修」と、日本語教室で外国人住民と交流しながら、日本語学習をサポートする方法を実践的に学ぶ「②実践研修」の2つの研修から構成されています。

①学習研修 6月(第Ⅰ期)と9、10月(第Ⅱ期)に3回ずつ、講座を開講します。地域に暮らす外国人の状況や、外国人住民と接する際に必要な「やさしい日本語」の指導など、地域の日本語教室に携わる専門家から学びます。

■期間中、3回以上の参加をお願いします。

第Ⅰ期：6月2日、16日、30日(日) 13:30~15:30を予定

第Ⅱ期：9月15日、29日、10月20日(日) 13:30~15:30を予定

②実践研修 6月~3月にかけて毎週日曜日(9:30~11:30)、外国人住民のための「地域でつながる日本語教室」(全35回)を開講します。

■期間中、10回以上の参加をお願いします。

初回：6月9日(日) 9:30~12:00(11:30~は教室終了後ミーティング)



うちの近所で暮らす外国人が
言葉の壁で困っているみたい…。
何かできることはないのかな？

…あなたのチカラ、外国人に求められています。

「地域でつながる日本語教室」について

日時 平成25年6月9日～平成26年3月2日 毎週日曜日 9:30～11:30
場所 総社市保健センター ほか（地域のイベント等に参加することもあります）

- ◆総社市に暮らす外国人住民が、地域社会で生活するために必要な日本語によるコミュニケーションの方法を学ぶ教室です。地域社会から孤立しがちな外国人住民が、日本語教室を通じて日本人住民と交流する場となることを目指しています。
- ◆生活に必要な情報や行政からのお知らせを、外国人住民にも分かりやすく伝えます。

お申し込み方法

下記の申込書に記入し、右の申込先へ提出してください。持参のほか、郵送・Fax・メールでも結構です。
窓口へ直接持参する場合は、市役所夜間窓口もごさいますので御利用ください。

◆問い合わせ・申込先

総社市役所本庁舎2階

人権・まちづくり課 国際・交流推進係

総社市中央一丁目1番1号

電話 (0866) 92-8242 FAX (0866) 93-9479

Email: jinken-machi@city.soja.okayama.jp

託児について

託児希望の方は、名札をつけた手提げに以下のものを入れて持ってきてください。複数名託児される場合には、お子様1人につき1つずつ用意してください。

- ・おむつ（必要な場合のみ）
- ・タオル
- ・飲み物
- ・お菓子（少し）

※お子様は細心の注意を払ってお預かりしますが、不測の事態に備え、託児の際は保険を掛けさせていただきます。どうかご安心してお預けください。

教室までの地図

総社市
保健センター
（総社市役所隣）2階
保健指導室・
集団指導室



- ※1 教室は変更になる場合があります。
- ※2 市役所駐車場を御利用いただけますが、イベント等と重なり満車の場合があります。御了承ください。

平成25年度 地域に根ざした日本語学習サポーター育成研修 申込書

氏名 _____ 男・女 _____ 住所 _____

電話番号 _____ E-mail _____ 託児 あり・なし _____

（託児希望の場合）お子様の氏名 _____ 男・女 _____ 生年月日 _____

志望動機 _____

H25 年度総社市「地域でつながる日本語教室」受講者用中間アンケート結果報告

- 1) 調査実施日：2013 年 10 月 6 日（日）、13 日（日）
- 2) 調査方法：日本語教室の時間内に 15 分程度時間を取り、各国語（葡・西・英・中・泰）に翻訳したアンケート調査票を配布し、受講者に記入してもらった。
- 3) 調査結果

【国籍別・レベル別回答者数】

	クラス1	クラス2	合計
ブラジル	1	4	5
ペルー	3	2	5
中国	4	4	8
フィリピン	1	1	2
ミャンマー	1	0	1
ネパール	1	0	1
日本	0	1	1
合計	11	12	23

※母語は中国語

【質問 1】あなたは日本語教室にどのくらいの頻度で来ていますか？（1 つ選択）

	クラス1	クラス2	合計
ほとんど毎回	8	8	16
半分くらい	3	3	6
あまり来ていない	0	1	1
合計	11	12	23

【質問 2】日本語の授業は楽しいですか？（1 つ選択）

	クラス1	クラス2	合計
とても楽しい	8	9	17
まあまあ楽しい	3	3	6
あまり楽しくない	0	0	0
ぜんぜん楽しくない	0	0	0
合計	11	12	23

【質問 3】日本語の授業は難しいですか？（1 つ選択）

	クラス1	クラス2	合計
難しい	0	2	2
まあまあ難しい	6	3	9
あまり難しくない	3	4	7
ぜんぜん難しくない	2	3	5
合計	11	12	23

【質問4】日本語教室に参加してできるようになったことを教えてください。(複数選択)

	クラス1	クラス2	合計
1. 日本人の言っていることが、以前より分かるようになった。	9	12	21
2. 日本語を使って話すことが、以前よりもできるようになった。	11	10	21
3. 日本語の文字が、以前よりも読めるようになった。	7	10	17
4. 日本語の文字が、以前よりも書けるようになった。	7	10	17
5. 以前よりもきちんとした日本語が使えるようになった。	10	11	21
6. 日本人と日本語でしゃべる機会が増えた。	9	11	20
7. 日本人の友達ができた。	8	10	18
8. 近所の日本人と交流する機会が増えた。	7	11	18
9. 日本の文化や習慣を知ることができた。	8	10	18
10. 総社市役所の情報を知ることができた。	9	11	20

【質問5】日本語教室に参加してよかったこと、役に立ったことは何ですか？(自由記述)

【クラスⅠ】

- ・新しい仕事を見つけることができました。(ペルー・女性)
- ・わからないが多かったですが、今は少しずつわかるようになって、日本語教室に来ることがとても大事なのだとわかりました。(ペルー・女性)
- ・日本語が勉強によってわかるようになりました。(ペルー・女性)
- ・日本語の正しい使い方を勉強できています。そして、漢字の読み書きの勉強をしています。(フィリピン・女性)
- ・①前はわからなかった単語がわかるようになった。②独学だった頃に比べて、単語が覚えられるようになった。(中国・女性)
- ・日本語教室に参加するようになって、たくさんの知らなかったことや、単語を勉強したり、これまで使っていたいくつかの間違った言い回しを直すことができました。他の国の人と一緒に勉強することで、他の国の色々なことまで知ることもできます。ここで勉強することで得るものはとても多いです。(中国・女性)
- ・①たくさんの単語を勉強し、前よりも聞き取れるようになった。②正しい日本語でしゃべったり日本人と交流できるようになった。(中国・女性)
- ・私にとって日本語を勉強しに来る意味がある(ミャンマー・女性)
- ・いろいろ【日本語】(中国・女性)
- ・にほんごきょうしつでいろいろおぼえてよかったです【日本語】(ブラジル・男性)
- ・私は、今は多くの日本人の友達ができ、より多くの場所に簡単にいけるようになりました。日本人の人たちは私が日本語や事柄を理解しているとより受け入れてくれます。私はもっと文化や場所の詳細について詳しく知りたいです。(ネパール・男性)

【クラスⅡ】

- ・日本語教室でたくさん新しい言葉や漢字を勉強できています。ただし、自分は普段からもっと勉強したいけれど時間がなくてできていません。だからあまり使っていません……(ブラジル・男性)
- ・日本人の友人はいないけれど、教室内が交流できる場所になっていてよかったと思っています。(ブラジル・男性)

- ・日本語の正しいしゃべり方を教えてくれると嬉しいです。(ペルー・男性)
- ・いつも楽し【日本語】(ペルー・女性)
- ・①漢字 ②日本語の文法 ③路上ルールについて学びました ④文化と安全について学びました
(フィリピン・男性)
- ・日本語の勉強はとても楽しいです。(中国・女性)
- ・たくさんの日本の習慣がわかり、見聞が広がりました。日本語への知識が深まりました。(中国・女性)
- ・日本人と自由に交流できるようになり、日本語での表現の幅も広がりました。会話能力と聞き取り能力が上がりました。(中国・女性)
- ・日本の友達と交流できるようになった。(中国・男性)
- ・日本人にとって当たり前のことが、私たち外国人には一番難しいと感じます。(ブラジル・女性)
- ・いろんな人と出会い、他の文化を知ることができて、日本の習慣について学ぶことができました。(ブラジル・男性)
- ・もっと日本語を上手くなって日本社会へ入りたいです(中国・女性)

【質問6】日本語教室に対する不満や要望はありますか？（自由記述）

【クラスⅠ】

- ・特にありません。(ペルー・女性)
- ・たまにローマ字が書いていないので、自分は全くわかりません。(ペルー・女性)
- ・先生たちは一人ひとり教え方が違うので、ある先生はすごくわかりやすいけど、別の先生はとてもわかりにくくて難しかったりします。(ペルー・女性)
- ・先生たちはわかりやすい教え方をしてくれていると思います。(フィリピン・女性)
- ・とても満足しています。(中国・女性)
- ・なし【日本語】(中国・女性)
- ・満足しています。(中国・女性)
- ・特にありません。毎回良い勉強ができています。(ミャンマー・女性)
- ・ない(中国・女性)

【クラスⅡ】

- ・教室内で書く時間が少ないので、もっとテキストを配って欲しいです。(ブラジル・男性)
- ・そのままがいいです。(ブラジル・男性)
- ・もう少し漢字の勉強をしたかったです。(ペルー・男性)
- ・いまのところ ぜんぶ OK【日本語】(ペルー・女性)
- ・なし。全部いいです。(フィリピン・男性)
- ・とても満足しています。(中国・女性)
- ・ありません【日本語】(中国・女性)
- ・とても満足しています。(中国・女性)
- ・現在二つのクラスでわかれているので、もっと分けて欲しいです。(ブラジル・女性)
- ・ない！【日本語】(ブラジル・男性)

【質問7】日本語教室の先生や日本語学習サポーターに対するメッセージをお願いします。

(自由記述)

【クラスⅠ】

- ・先生方はとても上手に教えてくれますが、中には残念ながらわかりにくい先生もいます。サポーターの皆さんはいつも手伝ってくれるととてもありがたいです。(ペルー・女性)
- ・先生たちがとてもよい教室をしてくれています。(ペルー・女性)
- ・ありがとう！(ペルー・女性)
- ・先生たちは色々教えてくれて、皆さん素晴らしいです。(フィリピン・女性)
- ・日本語の先生が私たちに知識をたくさん授けてくれるので、もっとたくさんの人に日本語教室に来てもらいたいと思っています。私たちは日本語を使って、色々な国から来た友達と交流できるでしょう。(中国・女性)
- ・先生方、このような機会をくださってありがとうございます。私たちは国を離れた異郷にありながら正確な学習をする大変大きな助けになっています。先生方はきっと大変でしょうが、心から感謝しています。(中国・女性)
- ・もっと日本語のわからない人にぜひ参加してもらって、可愛い先生たちに日本語を教えてもらったらいと思います。(中国・女性)
- ・ありがとうございます。本当に感謝しています。(ミャンマー・女性)
- ・日本語を学ぶ機会を与えてくれて、本当に感謝いたします。市役所の日本語教室のおかげで、日本での生活がより容易で快適になりました。(ネパール・男性)

【クラスⅡ】

- ・いつも冗談ばかりしてごめんなさい。先生たちに感謝しています。(ブラジル・男性)
- ・先生方の大事な時間や休みの日に、私たち外国人のために日本語を教えに来てくれて、とても感謝しています。(ブラジル・男性)
- ・いつも教えてくれてありがとう。(ペルー・男性)
- ・みなさん どうもありがとうございます 頑張りましょう・・・ね【日本語】(ペルー・女性)
- ・私はこの教室をとってもありがたく思っています。あなたたちの指導で、たくさんしたこと(特に漢字)を学べることを楽しく思っています。(フィリピン・男性)
- ・先生の教えてくれる日本語はとてもわかりやすいです。(中国・女性)
- ・先生、ありがとうございます【日本語】(中国・女性)
- ・先生方、ありがとうございます。同級の皆さん、がんばりましょう！(中国・女性)
- ・先生、とても素敵です。優しく教えてくれてとてもいいです。とてもわかります。(中国・男性)
- ・本当にありがとうございます。(ブラジル・女性)
- ・いつも私たちのためにご尽力いただきありがとうございます。(ブラジル・男性)
- ・私は残留孤児二世で、20年になりますが、とても日本語を勉強したいと思っていました。私は眼病で物を見るのがとても難しく、授業中も字を書くのが難しいため、聞き取りをして話すことができるようになったら十分です。先生方には、学習機会をもらえて本当にありがたく思います。(中国・女性)

H25 年度総社市「地域でつながる日本語教室」受講者用中間アンケート結果報告

- 1) 調査実施日：2013 年 10 月 6 日（日），13 日（日）
- 2) 調査方法：日本語教室の時間内に 15 分程度時間を取り，各国語（葡・西・英・中・泰）に翻訳したアンケート調査票を配布し，受講者に記入してもらった。
- 3) 調査結果

【国籍別・レベル別回答者数】

	クラス1	クラス2	合計
ブラジル	1	4	5
ペルー	3	2	5
中国	4	4	8
フィリピン	1	1	2
ミャンマー	1	0	1
ネパール	1	0	1
日本	0	1	1
合計	11	12	23

※母語は中国語

【質問 1】あなたは日本語教室にどのくらいの頻度で来ていますか？（1 つ選択）

	クラス1	クラス2	合計
ほとんど毎回	8	8	16
半分くらい	3	3	6
あまり来ていない	0	1	1
合計	11	12	23

【質問 2】日本語の授業は楽しいですか？（1 つ選択）

	クラス1	クラス2	合計
とても楽しい	8	9	17
まあまあ楽しい	3	3	6
あまり楽しくない	0	0	0
ぜんぜん楽しくない	0	0	0
合計	11	12	23

【質問 3】日本語の授業は難しいですか？（1 つ選択）

	クラス1	クラス2	合計
難しい	0	2	2
まあまあ難しい	6	3	9
あまり難しくない	3	4	7
ぜんぜん難しくない	2	3	5
合計	11	12	23

【質問4】日本語教室に参加してできるようになったことを教えてください。(複数選択)

	クラス1	クラス2	合計
1. 日本人の言っていることが、以前より分かるようになった。	9	12	21
2. 日本語を使って話すことが、以前よりもできるようになった。	11	10	21
3. 日本語の文字が、以前よりも読めるようになった。	7	10	17
4. 日本語の文字が、以前よりも書けるようになった。	7	10	17
5. 以前よりもきちんとした日本語が使えるようになった。	10	11	21
6. 日本人と日本語でしゃべる機会が増えた。	9	11	20
7. 日本人の友達ができた。	8	10	18
8. 近所の日本人と交流する機会が増えた。	7	11	18
9. 日本の文化や習慣を知ることができた。	8	10	18
10. 総社市役所の情報を知ることができた。	9	11	20

【質問5】日本語教室に参加してよかったこと、役に立ったことは何ですか？(自由記述)

【クラスⅠ】

- ・新しい仕事を見つけることができました。(ペルー・女性)
- ・わからないが多かったですが、今は少しずつわかるようになって、日本語教室に来ることがとても大事なのだとわかりました。(ペルー・女性)
- ・日本語が勉強によってわかるようになりました。(ペルー・女性)
- ・日本語の正しい使い方を勉強できています。そして、漢字の読み書きの勉強をしています。(フィリピン・女性)
- ・①前はわからなかった単語がわかるようになった。②独学だった頃に比べて、単語が覚えられるようになった。(中国・女性)
- ・日本語教室に参加するようになって、たくさんの知らなかったことや、単語を勉強したり、これまで使っていたいくつかの間違った言い回しを直すことができました。他の国の人と一緒に勉強することで、他の国の色々なことまで知ることもできます。ここで勉強することで得るものはとても多いです。(中国・女性)
- ・①たくさんの単語を勉強し、前よりも聞き取れるようになった。②正しい日本語でしゃべったり日本人と交流できるようになった。(中国・女性)
- ・私にとって日本語を勉強しに来る意味がある(ミャンマー・女性)
- ・いろいろ【日本語】(中国・女性)
- ・にほんごきょうしつでいろいろおぼえてよかったです【日本語】(ブラジル・男性)
- ・私は、今は多くの日本人の友達ができ、より多くの場所に簡単にいけるようになりました。日本人の人たちは私が日本語や事柄を理解しているとより受け入れてくれます。私はもっと文化や場所の詳細について詳しく知りたいです。(ネパール・男性)

【クラスⅡ】

- ・日本語教室でたくさん新しい言葉や漢字を勉強できています。ただし、自分は普段からもっと勉強したいけれど時間がなくてできていません。だからあまり使っていません……(ブラジル・男性)
- ・日本人の友人はいないけれど、教室内が交流できる場所になっていてよかったと思っています。(ブラジル・男性)

- ・日本語の正しいしゃべり方を教えてくれると嬉しいです。(ペルー・男性)
- ・いつも楽し【日本語】(ペルー・女性)
- ・①漢字 ②日本語の文法 ③路上ルールについて学びました ④文化と安全について学びました
(フィリピン・男性)
- ・日本語の勉強はとても楽しいです。(中国・女性)
- ・たくさんの日本の習慣がわかり、見聞が広がりました。日本語への知識が深まりました。(中国・女性)
- ・日本人と自由に交流できるようになり、日本語での表現の幅も広がりました。会話能力と聞き取り能力が上がりました。(中国・女性)
- ・日本の友達と交流できるようになった。(中国・男性)
- ・日本人にとって当たり前のことが、私たち外国人には一番難しいと感じます。(ブラジル・女性)
- ・いろんな人と出会い、他の文化を知ることができて、日本の習慣について学ぶことができました。(ブラジル・男性)
- ・もっと日本語を上手くなって日本社会へ入りたいです(中国・女性)

【質問6】日本語教室に対する不満や要望はありますか？（自由記述）

【クラスⅠ】

- ・特にありません。(ペルー・女性)
- ・たまにローマ字が書いていないので、自分は全くわかりません。(ペルー・女性)
- ・先生たちは一人ひとり教え方が違うので、ある先生はすごくわかりやすいけど、別の先生はとてもわかりにくくて難しかったりします。(ペルー・女性)
- ・先生たちはわかりやすい教え方をしてくれていると思います。(フィリピン・女性)
- ・とても満足しています。(中国・女性)
- ・なし【日本語】(中国・女性)
- ・満足しています。(中国・女性)
- ・特にありません。毎回良い勉強ができています。(ミャンマー・女性)
- ・ない(中国・女性)

【クラスⅡ】

- ・教室内で書く時間が少ないので、もっとテキストを配って欲しいです。(ブラジル・男性)
- ・そのままがいいです。(ブラジル・男性)
- ・もう少し漢字の勉強をしたかったです。(ペルー・男性)
- ・いまのところ ぜんぶ OK【日本語】(ペルー・女性)
- ・なし。全部いいです。(フィリピン・男性)
- ・とても満足しています。(中国・女性)
- ・ありません【日本語】(中国・女性)
- ・とても満足しています。(中国・女性)
- ・現在二つのクラスでわかれているので、もっと分けて欲しいです。(ブラジル・女性)
- ・ない！【日本語】(ブラジル・男性)

【質問7】日本語教室の先生や日本語学習サポーターに対するメッセージをお願いします。

(自由記述)

【クラスⅠ】

- ・先生方はとても上手に教えてくれますが、中には残念ながらわかりにくい先生もいます。サポーターの皆さんはいつも手伝ってくれるととてもありがたいです。(ペルー・女性)
- ・先生たちがとてもよい教室をしてくれています。(ペルー・女性)
- ・ありがとう！(ペルー・女性)
- ・先生たちは色々教えてくれて、皆さん素晴らしいです。(フィリピン・女性)
- ・日本語の先生が私たちに知識をたくさん授けてくれるので、もっとたくさんの人に日本語教室に来てもらいたいと思っています。私たちは日本語を使って、色々な国から来た友達と交流できるでしょう。(中国・女性)
- ・先生方、このような機会をくださってありがとうございます。私たちは国を離れた異郷にありながら正確な学習をする大変大きな助けになっています。先生方はきっと大変でしょうが、心から感謝しています。(中国・女性)
- ・もっと日本語のわからない人にぜひ参加してもらって、可愛い先生たちに日本語を教えてもらったらいと思います。(中国・女性)
- ・ありがとうございます。本当に感謝しています。(ミャンマー・女性)
- ・日本語を学ぶ機会を与えてくれて、本当に感謝いたします。市役所の日本語教室のおかげで、日本での生活がより容易で快適になりました。(ネパール・男性)

【クラスⅡ】

- ・いつも冗談ばかりしてごめんなさい。先生たちに感謝しています。(ブラジル・男性)
- ・先生方の大事な時間や休みの日に、私たち外国人のために日本語を教えに来てくれて、とても感謝しています。(ブラジル・男性)
- ・いつも教えてくれてありがとう。(ペルー・男性)
- ・みなさん どうもありがとうございます 頑張りましょう・・・ね【日本語】(ペルー・女性)
- ・私はこの教室をとってもありがたく思っています。あなたたちの指導で、たくさんのこと(特に漢字)を学べることを楽しく思っています。(フィリピン・男性)
- ・先生の教えてくれる日本語はとてもわかりやすいです。(中国・女性)
- ・先生、ありがとうございます【日本語】(中国・女性)
- ・先生方、ありがとうございます。同級の皆さん、がんばりましょう！(中国・女性)
- ・先生、とても素敵です。優しく教えてくれてとてもいいです。とてもわかります。(中国・男性)
- ・本当にありがとうございます。(ブラジル・女性)
- ・いつも私たちのためにご尽力いただきありがとうございます。(ブラジル・男性)
- ・私は残留孤児二世で、20年になりますが、とても日本語を勉強したいと思っていました。私は眼病で物を見るのがとても難しく、授業中も字を書くのが難しいため、聞き取りをして話すことができるようになったら十分です。先生方には、学習機会をもらえて本当にありがたく思います。(中国・女性)

H25 年度総社市「地域でつながる日本語教室」受講者用最終アンケート結果報告

- 1) 調査実施日：2014 年 2 月 16 日（日），3 月 2 日（日）
- 2) 調査方法：日本語教室の時間内に 15 分程度時間を取り，各国語（葡・西・英・中・泰）に翻訳したアンケート調査票を配布し，受講者に記入してもらった。
- 3) 調査結果

【国籍別・レベル別回答者数】

	クラス1	クラス2	合計
ブラジル	2	3	5
ペルー	3	2	5
中国	3	6	9
フィリピン	2	1	3
ミャンマー	1	0	1
ネパール	1	0	1
インドネシア	0	1	1
日本	0	0	0
合計	12	13	25

【質問 1】あなたは日本語教室にどのくらいの頻度で来ましたか？（1つ選択）

	クラス1	クラス2	合計
ほとんど毎回	5	8	13
半分くらい	4	2	6
あまり来なかった	3	2	5
合計	12	12	24

無回答 1

【質問 2】日本語の授業は楽しかったですか？（1つ選択）

	クラス1	クラス2	合計
とても楽しかった	10	8	18
まあまあ楽しかった	2	5	7
あまり楽しくなかった	0	0	0
ぜんぜん楽しくなかった	0	0	0
合計	12	13	25

【質問 3】日本語の授業は難しかったですか？（1つ選択）

	クラス1	クラス2	合計
難しかった	2	2	4
まあまあ難しかった	1	5	6
あまり難しくなかった	7	2	9
ぜんぜん難しくなかった	2	3	5
合計	12	12	24

無回答 1

【質問4】 これからも総社市日本語教室で日本語の勉強を続けたいですか？（1つ選択）

	クラス1	クラス2	合計
とてほしい	9	9	18
まあほしい	3	4	7
あまりしたくない	0	0	0
ぜんぜんしたくない	0	0	0
合計	12	13	25

【質問5】 日本語教室に参加してできるようになりたいことは何ですか？（複数選択）

	クラス1	クラス2	合計
1. 日本人の言っていることが、分かるようになりたい。	10	11	21
2. 日本語を使って、話せるようになりたい。	11	12	23
3. 日本語の文字を、読めるようになりたい。	9	10	19
4. 日本語の文字を、書けるようになりたい。	8	11	19
5. きちんとした日本語を使えるようになりたい。	11	12	23
6. 日本人と日本語でしゃべれるようになりたい。	10	10	20
7. 日本人の友達をつくりたい。	9	10	19
8. 近所の日本人と交流できるようになりたい。	8	10	18
9. 日本の文化や習慣を知りたい。	10	11	21
10. 総社市役所の情報を知りたい。	9	11	20

【質問6】 日本語教室に参加してよかったこと、役に立ったことは何ですか？（自由記述）

【クラスI】

- ・日本語の勉強は大変役に立ちました。最初は話せなかったのですが、だいぶ話せるようになりました。（ミャンマー・女性）
- ・①たくさんの友達ができる
 - ②たくさんの日本文化と生活を学んだ
 - ③日本人の考え方を知ることができた
 - ④日本に関する様々なことを知ることができた（ネパール・男性）
- ・【ローマ字】全部（フィリピン・女性）
- ・ある程度日本語を勉強できたことで、とても最近はおかっています。特に学校で、先生方の言うことが少しずつ理解できていることがとてもうれしいです。（ペルー・女性）
- ・私はここに来た頃はまったく日本語がしゃべれませんでした、今は少しずつわかるようになりました。（ペルー・女性）
- ・この教室に来て日本語の勉強だけでなく、特別な楽しい時間や、友達を作る時間がたくさんあったことがとてもよかったです。（ペルー・女性）
- ・勉強をすることでコミュニケーションができるようになり、これまで日常生活で困っていたことが少しずつ解決できるようになりました。（ブラジル・男性）
- ・コミュニケーション。交流することで友達ことができました。（ブラジル・男性）

- ・単語を覚えて、日本人と簡単な交流ができるようになりました。(中国・女性)
- ・日本人だけでなく、他の国の人たちとの交流をますます深めることができました。
- ・日本の風習や習慣、文化をよく知ることができました。(中国・女性)
- ・交流(中国・女性)

【クラスⅡ】

- ・日本語教室に参加し、日本語の勉強だけでなく他の国の人と交流したり市からの情報提供に感謝しています。(ブラジル・男性)
- ・【日本語】楽しかった。きちんと日本語を使えるように・・・(ペルー・女性)
- ・まず、私にとっては漢字と発音がとても勉強になりました。人とのつながりの幅が広がり、日本語教室を通じて友達もできました。この教室を愛していて、とても楽しいです！(フィリピン・女性)
- ・日本語教室の先生はとても熱心に教えてくれて、みんなとても嬉しいです(中国・女性)
- ・とても日本語をよく学べます(中国・女性)
- ・前に日本人と交流したとき、どんな言葉で話せばいいかわからず、顔も真っ赤になって単語すら口から出てきませんでした。今では日本語を使えるようになり、日本語をしゃべっていても恥ずかしくなくなったのが、私にとっては一番嬉しいことです。(中国・女性)
- ・友達ができました。日本での生活や文化、習慣をわかるようになりました。(中国・女性)
- ・【日本語】日本語べんきよするのはたのしい わからないことばをせんせいにきくことができます。。。 (インドネシア・男性)
- ・交流が増えて、日本語会話のレベルが上がりました。(中国・女性)
- ・【日本語】たくさん日本語勉強した(中国・男性)
- ・市からの情報や日本人のエチケット、漢字の読み書き。(ブラジル・男性)
- ・日常生活の中で使っている単語や漢字を勉強できてよかったですと思います。(ブラジル・男性)
- ・友達を作ったり、日常生活の単語を覚えることができるととてもよかったです。今ではかなり使ってます。(ペルー・男性)

【質問7】日本語教室に対する不満や要望はありますか？(自由記述)

【クラスⅠ】

- ・現状のままでいいと思います。(ミャンマー・女性)
- ・ぜひ日本語教室を続けてほしいです。(ペルー・女性)
- ・何でも好きです。(ペルー・女性)
- ・満足です(中国・女性)

【クラスⅡ】

- ・もっと生活情報と日本の文化を習いたいと思います。(ブラジル・男性)
- ・【日本語】ぜんぶ OK(ペルー・女性)
- ・私はもっと漢字の勉強をしたいです。それから、文型や単語の勉強があるととても助かります。もしできれば、日本の文化だけでなくほかの国の文化も楽しみたいです。(フィリピン・女性)
- ・とても満足しています。教え方はとてもよいです。(中国・女性)
- ・とても満足しています。(中国・女性)
- ・今のところありません。(中国・女性)

- ・不満はありません。希望は、日本語の授業が少ないのでもっと増やしてほしいです。(中国・女性)
- ・【日本語】みんなの日本ごのべんきょうしたい。。。
- ・N4 ごっかくしましたから。N3 をべんきょうしたい。。。(インドネシア・男性)
- ・満足しています。(中国・女性)
- ・【日本語】ないです(中国・男性)
- ・もっと日本人の文化の情報を教えてほしい。そして日本語の文章の作り方とかを正しく教えてほしい。(ブラジル・男性)
- ・もっと漢字の読み書きを勉強したいです。(ペルー・男性)

【質問 8】日本語教室の先生や日本語学習サポーターに対するメッセージをお願いします。
(自由記述)

【クラス I】

- ・先生方、サポーターの皆様、大変ありがとうございました。(ミャンマー・女性)
- ・素敵な機会を与えてくれてありがとうございます。たくさんの素敵な文化や日本人の生活のを知ることができて、私にとって人生最高の体験でした。私がこの教室に参加したばかりの頃には誰も知らなかったのですが、今ではたくさんの友達ができて、とても素晴らしく思っています。あなた方の活動や、素晴らしい日本語の教え方で言葉だけでなく様々な場所へ案内していただいたことを心から感謝しています。(ネパール・男性)
- ・すべての先生、本当にありがとうございました。またね！(フィリピン・女性)
- ・先生方、心から感謝しています。皆様のご健康をお祈りいたします。(ペルー・女性)
- ・本当にありがとうございます。これからも教室を続けてください。(ペルー・女性)
- ・①まず市役所の方々に、日本語教室を作ってくれてありがとうございます。
②サポーターの皆さん、感謝しています。
③先生方、いつもがんばって私たちのために色々なことを教えてくれて、本当にありがとうございます。(ペルー・女性)
- ・先生方、関係者の皆さん、心から本当にありがとうございます。これから皆様の永遠の幸せをお祈りします。(ブラジル・男性)
- ・本当にありがとうございます。(ブラジル・男性)
- ・先生方に幸せが訪れますように。(中国・女性)
- ・あなた方に感謝します。お疲れ様でした。(中国・女性)
- ・【日本語】おつかれさまでした。ありがとうございました。(フィリピン・女性)
- ・この期間、お世話になりました。(中国・女性)

【クラス II】

- ・【日本語】いつも ありがとうございます。(ブラジル・男性)
- ・【日本語】せんせい いつもありがとう
せんせい いそがしいところきていただいて いっぱいかんしゃしています(ペルー・女性)
- ・【日本語】ここから かんしゃしています。
【英語】どうかどうかもっと私たちをサポートして、私たちの違いをもっと理解してほしいのですが、皆さんは私たちのためにいつも最善を尽くしてくれていることと思います……私は皆さんのサポートをいつも

本当にうれしく思っています。本当にありがとうございます, もっと力になってください。(フィリピン・女性)

・日本語教室をこれからも続けてほしいです。(中国・女性)

・私は日本語教室の先生にとっても感謝しています。日本語を学べました, ありがとう。(中国・女性)

・日本での時間はあと6ヶ月ですが, 私はこの6ヶ月間でもっと日本語をうまくなりたいです。先生にはこれからも助けてほしいです。(中国・女性)

・先生ありがとう, お疲れ様。(中国・女性)

・先生方, あけましておめでとうございます。どうかお元気で。日本語教室がますますよくなりますように。(中国・女性)

・【日本語】ありがとうございます(中国・男性)

・【日本語】ありがとう！(ブラジル・男性)

・参加していてとてもよかった。皆さん愛しています！(ブラジル・男性)

・皆さんの努力に感謝いたします。(ペルー・男性)

H25 総社市日本語学習サポーター育成研修アンケート(中間)集計結果

1) 調査実施日：2013年10月30日(木)～11月31日(日)

2) 調査方法：調査票を郵送し、回答を返送してもらった。

郵送数19人、有効回答数12人(返送率63%)

3) 調査結果

I 「学習研修」について

1. 学習研修6回のうち、参加した研修は？

	回答者参加数	参加実数
第1回	6	8
第2回	6	6
第3回	7	9
第4回	4	7
第5回	6	9
第6回	7	8

2. 学習研修の内容はいかがでしたか？

とてもよかった	9
まあまあよかった	3
あまりよくなかった	0
ぜんぜんよくなかった	0
合計	12

3. 学習研修の回数はいかがでしたか？

特に問題なかった	11
もっと回数を増やしてほしい	0
もっと回数を減らしてほしい	1
合計	12

4. 学習研修の日程はいかがでしたか？

- ・中途参加の方も研修に3回出ることができるようになっているので、良いと思いました。
間を空けてくださって好都合です。
- ・もう少し分散してもいいかもしれません。
- ・前半の研修が6月に3回あったので、1回を7月にあったらよかったかなと思った。(講師の日程もあると思いますが)
- ・土曜日開催の日があれば参加しやすいと思いました。
- ・前半・後半とに分かれていたのが個人的には都合が良かった
- ・良かった

5. 学習研修全体に関する感想・コメント

- ・特にありません
- ・私が参加した3回はとてもよかったです。特にみんなでつくろう！「やさしい日本語」という研修と 10/20 の地域の外国人住民が抱える問題と研修はとてもよかったです。感動しました。外国人の為そこまで考えて頑張っている先生を含め、みなさまが本当に素晴らしいです。
- ・外国の方々の現状を知る事ができ、日本語学習の授業の時にも相手の立場を考えながら参加する事ができました。
- ・「やさしい日本語」研修が役に立ちそうだった。時間が限られていたため、次回もまた勉強したいと思った。
- ・「やさしい日本語」の講座がおもしろく、ためになりました。同様の、技術を学べる講座が何回かあれば参加したいと思いました。
- ・残念ながら自分の都合で参加できた回数は2回と 1/2 程度となってしまいました。サポーターの役割や心構えをお話のみならず、ワークショップ形式で皆で話し合いながら考えることができ、興味深く楽しみながら参加できました。大変厚かましいのですが、毎回、研修を DVD にとっていただき、欠席者で希望する人に貸し出していただければ有り難かったと思います。
- ・外国人の事情、環境についてを学べる回と日本語学習現場での基礎的知識を学べる回とあり、とてもバランスよく学習することができる。
- ・専門的なお話を聞くことができ、大変勉強になりました。
- ・研修会に何人もの方が講師に来て下さり、それぞれの外国人と日本語についての考え方や捉え方を聴くことができたので、たいへん参考になりました。ありがとうございました。

II 「実践研修」(日本語教室への参加)について

1. 「地域でつながる日本語教室」にどのくらいの頻度で参加されていますか？

	回答者参加数	参加実数
10回以上	2	4
5~10回程度	8	8
1~4回程度	2	4
0回	0	3
合計	12	19

2. サポーターとして参加して、よかったことはどんなことですか？

- ・外国人の方の感じていることや思っていることが伝わってくるので、それが良いと思います。
- ・わからないことをよく質問して下さり、役立ち感がある。市街地でお会いしても声かけができるようになりました。
- ・ちょっとでも日本語分らないみなさんに役に立っていることが良かった所だと思います。
- ・日本の事を知ってもらうお手伝いだけでなく、自分も海外のことを知る機会ができ、嬉しいです。また、スーパーなどで生徒さんやサポーターさんと会い、地域のつながりができた事を実感しました。
- ・教室に来られている生徒の方と顔見知りになったので、偶然電車内で会ったりすると会話することができた。教室に参加することによって、総社市に在住の外国人の方と知り合い、会話する機

会がもてた。

- ・日本人でも知らない、日本の文化を学べたこと。各国の文化を知ることができたこと。
- ・異なる文化、考え方、習慣などを理解し合えたことです！！ 外国人の方、サポーターの方、市役所職員の方と顔見知りになれ、総社を好きになった気がします。
- ・普通に生活していると接点の無い外国人の方々とふれあうことができること
- ・日本人・外国人問わず様々な人と交流できること
- ・様々な国の方と交流することができたこと、外国人の方に日本語を教えることの難しさを再認識できました。
- ・学習者・サポーター共に楽しめる企画を色々工夫して下さっており、日本の文化や防災の知識等が学習できてとても有意義だと思います。そういったイベントの時には、学習者とサポーター、サポーター同士も普通の授業の時より、より親しくなれて、その点も良いと思います。

3. 「地域でつながる日本語教室」に参加して、問題に感じていることがありますか？

- ・特に感じてはいません。
- ・各国のみなさんに、お互いに交流するチャンスをもっと増やしたらどうかと思います。
- ・特にないです。
- ・教室に来られている方の学習レベルが違うので、学習するうえでの要望や不満などの意見があるのか、あるいはあればどんなものか知りたい。
- ・私自身初めて参加させていただいているので、適切なアドバイスができなかったり、失敗したり、恥をかいたり…。今のところ、そんな自分の力量不足が問題だと感じています。(トホホ…)
- ・特になし
- ・時折、学習の方から「もう少し漢字をたくさん勉強したい」等個人的な要望を聞くことがあります。個々の方の要望に応えることは難しいと思いますが、少しでも意欲に応じてあげられる方法があればと思います。

4. 今後も継続して日本語学習サポーターとして参加したいですか？

とても参加したい	8
まあまあ参加したい	4
あまり参加したくない	0
もう参加したくない	0
合計	12

5. 実践研修全体に関する感想・コメント

- ・バラエティにとんだ内容が受講者を飽きさせないような作りになっていると思います。
- ・体験研修・机上研修ともにあり、興味・関心が持続しやすいように思った。
- ・先生、サポーターを中心に、日本語教室のみんなが、地域でつながる、心でつながる友達になられている感じがしました。
- ・もう少し参加する方の事を知る機会があれば、さらに相手の事を理解して参加しやすいかなと思いました。(今はなかなか名前を覚えるのが難しく…。私の場合ですが。)
- ・授業が進むにつれて、受講者間(国籍の違う)の会話もクラスⅡでは多くなってきたと思うが、ク

ラス I ではまだ少ないように感じています。難しいかもしれませんが、違う国籍の受講者間の会話が増えればうれしいです。

- ・もう少し積極的に参加をしたいと思います。外国人の方と同じ立ち位置で(上下関係なく)勉強できる点がとてもいいと思います。
- ・講師の方々から多くのことを学べたことに感謝しています。どの方々も、日本語学習者に対して「上から目線」ではなく、その人の人権をきちんと尊重し、細やかなサポートをしておられることがよくわかり、私自身多くの“気づき”がありました。
- ・参加されているサポーターの方々もベテランが多くコミュニケーションを上手く取っているので勉強になりありがたいと感じる。
- ・毎回学習者の方が楽しそうに取り組まれているのを見て、自分自身も楽しく参加させてもらえます。
- ・あまり多くの回数は参加できていないのですが、外国人の方に総社や日本での居心地の良さを感じてもらえるよう、少しでも手助けができるようにこれからも参加したいと思っています。よろしくお願いします。
- ・家庭の事情等で欠席することが多く、中途半端になってしまい心苦しく思っています。

6. 今後への要望

- ・特にはないです。
- ・特にありません。
- ・いつも楽しく参加させて頂いています。このような機会を与えて下さってありがとうございます。
- ・教室に参加されていない総社市在住の外国人が、現在問題として抱えている事はあるのか、参加したいけど参加できない理由があるのかなど調査する機会があれば知りたいです。
- ・日本語の教え方のスキルについて、もう少しレクチャーがあれば、外国人の方とより積極的にコミュニケーションをとれるようになり、ボランティアが成長できるのではと思います。
- ・市役所職員の方々が「日曜日」という大切な休日に事務局として参加され、いつも気持ちよくていねいに対応される姿に毎回頭が下がります。教室の先生方の学習準備や当日のすすめ方もすごいと思います。毎回のように楽しみに参加されている外国人の方の“ホットスポット”となっていると思います。できればもっと多くの市民がサポーターとして参加されるといっそう豊かな広がりになるのではないのでしょうか？ サポーター制度(日本語教室)そのものを知らない人に知らせられるしくみを工夫(強力な広報活動！)されてはどうでしょう。※私もサロンブラジエイロで初めて知りましたから・・・。
- ・特になし
- ・いつもありがとうございます。

H25 総社市日本語学習サポーター育成研修中間アンケート集計結果

1) 調査実施日：2013年10月30日（木）～11月31日（日）

2) 調査方法：調査票を郵送し，回答を返送してもらった。

郵送数 19 人，有効回答数 12 人（返送率 63%）

3) 調査結果

I 「学習研修」について

1. 学習研修 6 回のうち，参加した研修は？

	回答者参加数	参加実数
第1回	6	8
第2回	6	6
第3回	7	9
第4回	4	7
第5回	6	9
第6回	7	8

2. 学習研修の内容はいかがでしたか？

とてもよかった	9
まあまあよかった	3
あまりよくなかった	0
ぜんぜんよくなかった	0
合計	12

3. 学習研修の回数はいかがでしたか？

特に問題なかった	11
もっと回数を増やしてほしい	0
もっと回数を減らしてほしい	1
合計	12

4. 学習研修の日程はいかがでしたか？

- ・中途参加の方も研修に3回出ることができるようになっていたので，良いと思いました。
間を空けてくださって好都合です。
- ・もう少し分散してもいいかもしれません。
- ・前半の研修が6月に3回あったので，1回を7月にあったらよかったかなと思った。（講師の日程もあると思いますが）
- ・土曜日開催の日があれば参加しやすいと思いました。
- ・前半・後半とに分かれていたのが個人的には都合が良かった
- ・良かった

5. 学習研修全体に関する感想・コメント

- ・特にありません
- ・私が参加した3回はとてもよかったと思う。特にみんなでつくろう！「やさしい日本語」という研修と 10/20 の地域の外国人住民が抱える問題と研修はとてもよかった。感動しました。外国人の為そこまで考えて頑張っている先生を含め、みなさまが本当に素晴らしいです。
- ・外国の方々の現状を知る事ができ、日本語学習の授業の時にも相手の立場を考えながら参加する事ができました。
- ・「やさしい日本語」研修が役に立ちそうだったと思った。時間が限られていたため、次回もまた勉強したいと思った。
- ・「やさしい日本語」の講座がおもしろく、ためになりました。同様の、技術を学べる講座が何回かあれば参加したいと思いました。
- ・残念ながら自分の都合で参加できた回数は2回と 1/2 程度となってしまいました。サポーターの役割や心構えをお話のみならず、ワークショップ形式で皆で話し合いながら考えることができ、興味深く楽しみながら参加できました。大変厚かましいのですが、毎回、研修を DVD にとっていただき、欠席者で希望する人に貸し出していただければ有り難かったと思います。
- ・外国人の事情、環境についてを学べる回と日本語学習現場での基礎的知識を学べる回とあり、とてもバランスよく学習することができる。
- ・専門的なお話を聞くことができ、大変勉強になりました。
- ・研修会に何人の方が講師に来て下さり、それぞれの外国人と日本語についての考え方や捉え方を聴くことができたので、たいへん参考になりました。ありがとうございました。

II 「実践研修」（日本語教室への参加）について

1. 「地域でつながる日本語教室」にどのくらいの頻度で参加されていますか？

	回答者参加数	参加実数
10回以上	2	4
5～10回程度	8	8
1～4回程度	2	4
0回	0	3
合計	12	19

2. サポーターとして参加して、よかったことはどんなことですか？

- ・外国人の方の感じていることや思っていることが伝わってくるので、それが良いと思います。
- ・わからないことをよく質問して下さり、役立ち感がある。市街地でお会いしても声かけができるようになりました。
- ・ちょっとでも日本語分らないみなさんに役に立っていることが良かった所だと思います。
- ・日本の事を知ってもらうお手伝いだけでなく、自分も海外のことを知る機会ができ、嬉しいです。

また、スーパーなどで生徒さんやサポーターさんと会い、地域のつながりができた事を実感しました。

- ・教室に来られている生徒の方と顔見知りになったので、偶然電車内で会ったりすると会話することができた。教室に参加することによって、総社市に在住の外国人の方と知り合い、会話する機会がもてた。
- ・日本人でも知らない、日本の文化を学べたこと。各国の文化を知ることができたこと。
- ・異なる文化、考え方、習慣などを理解し合えたことです！！外国人の方、サポーターの方、市役所職員の方と顔見知りになれ、総社を好きになった気がします。
- ・普通に生活していると接点の無い外国人の方々とふれあうことができること
- ・日本人・外国人問わず様々な人と交流できること
- ・様々な国の方と交流することができたこと、外国人の方に日本語を教えることの難しさを再認識できました。
- ・学習者・サポーター共に楽しめる企画を色々工夫して下さっており、日本の文化や防災の知識等が学習できてとても有意義だと思います。そういったイベントの時には、学習者とサポーター、サポーター同士も普通の授業の時より、より親しくなれて、その点も良いと思います。

3. 「地域でつながる日本語教室」に参加して、問題に感じていることがありますか？

- ・特に感じてはいません。
- ・各国のみなさんに、お互いに交流するチャンスをもっと増やしたらどうかと思います。
- ・特にないです。
- ・教室に来られている方の学習レベルが違うので、学習するうえでの要望や不満などの意見があるのか、あるいはあればどんなものか知りたい。
- ・私自身初めて参加させていただいているので、適切なアドバイスができなかったり、失敗したり、恥をかいたり…。今のところ、そんな自分の力量不足が問題だと感じています。(トホホ…)
- ・特になし
- ・時折、学習の方から「もう少し漢字をたくさん勉強したい」等個人的な要望を聞くことがあります。個々の方の要望に応えることは難しいと思いますが、少しでも意欲に応じてあげられる方法があればと思います。

4. 今後も継続して日本語学習サポーターとして参加したいですか？

とても参加したい	8
まあまあ参加したい	4
あまり参加したくない	0
もう参加したくない	0
合計	12

5. 実践研修全体に関する感想・コメント

- ・バラエティにとんだ内容が受講者を飽きさせないような作りになっていると思います。
- ・体験研修・机上研修ともにあり、興味・関心が持続しやすいように思った。
- ・先生、サポーターを中心に、日本語教室のみんなが、地域でつながる、心でつながる友達になられている感じがしました。
- ・もう少し参加する方の事を知る機会があれば、さらに相手の事を理解して参加しやすいかなと思いました。(今はなかなか名前を覚えるのが難しくて…。私の場合ですが。)
- ・授業が進むにつれて、受講者間(国籍の違う)の会話もクラスⅡでは多くなってきたと思うが、クラスⅠではまだ少ないように感じています。難しいかもしれませんが、違う国籍の受講者間の会話が増えればうれしいです。
- ・もう少し積極的に参加をしたいと思います。外国人の方と同じ立ち位置で(上下関係なく)勉強できる点がとてもいいと思います。
- ・講師の方々から多くのことを学べたことに感謝しています。どの方々も、日本語学習者に対して「上から目線」ではなく、その人の人権をきちんと尊重し、細やかなサポートをしておられることがよくわかり、私自身多くの“気づき”がありました。
- ・参加されているサポーターの方々もベテランが多くコミュニケーションを上手く取っているので勉強になりありがたいと感じる。
- ・毎回学習者の方が楽しそうに取り組まれているのを見て、自分自身も楽しく参加させてもらえます。
- ・あまり多くの回数は参加できていないのですが、外国人の方に総社や日本での居心地の良さを感じてもらえるよう、少しでも手助けができるようにこれからも参加したいと思っています。よろしくお願いします。
- ・家庭の事情等で欠席することが多く、中途半端になってしまい心苦しく思っています。

6. 今後への要望

- ・特にはないです。
- ・特にありません。
- ・いつも楽しく参加させて頂いています。このような機会を与えて下さってありがとうございます。
- ・教室に参加されていない総社市在住の外国人が、現在問題として抱えている事はあるのか、参加したいけど参加できない理由があるのかなど調査する機会があれば知りたいです。
- ・日本語の教え方のスキルについて、もう少しレクチャーがあれば、外国人の方とより積極的にコミュニケーションをとれるようになり、ボランティアが成長できるのではと思います。
- ・市役所職員の方々が「日曜日」という大切な休日に事務局として参加され、いつも気持ちよくていねいに対応される姿に毎回頭が下がります。教室の先生方の学習準備や当日のすすめ方もすごいいと思います。毎回のように楽しみに参加されている外国人の方の“ホットスポット”となっていると思います。できればもっと多くの市民がサポーターとして参加されるといっそう豊かな広

がりになるのではないのでしょうか？ サポーター制度(日本語教室)そのものを知らない人に知らせられるしくみを工夫(強力な広報活動！)されてはどうでしょう。※私もサロンブラジエイロで初めて知りましたから・・・。

- ・特になし
- ・いつもありがとうございます。

H25 総社市日本語学習サポーター育成研修最終アンケート集計結果

- 1) 調査実施日：2014年2月19日（水）～3月10日（月）
- 2) 調査方法：調査票を郵送し、回答を返送してもらった。
郵送数19人、有効回答数10人（返送率53%）
- 3) 調査結果

1. 「地域でつながる日本語教室」にどのくらいの頻度で参加されましたか？

	回答者参加数	参加実数
10回以上	4	7
5～10回程度	3	7
1～4回程度	3	2
0回	0	3
合計	10	19

2. 「地域でつながる日本語教室」に日本語学習サポーターとして参加して、良かったことや問題に感じたこと、感想やコメントなど自由にお書きください。

- ・日本語サポーター研修を通して色々な人に出会えてたのしかった。なかなか、毎回は参加できず、中途半端になってしまった。直接外国の人と接することができなかったのが心残りです。
- ・一歩(半歩)ぐらい深く仲よくなりつつあり、町角でも天気の話ぐらいはできるようになりました。
- ・市民と行政の協働を実感できたこと、地域に住む外国人の方と知り合いになり、町で会っても気軽に声をかけ合うことができるようになったこと。サポーター間の異年齢の人びととの交流ができること。先生方の教え方の様々な工夫に学ぶことがたくさんあること等々…。これまで知らなかった経験をすることができました。いくつになっても新しく知ること、経験すること、出会いにはワクワクします(しました)。退職後、私にとってはもっとも印象深い経験になりました。
- ・学習者、サポーター、先生や職員さんと日本語教室を通してつながれる事を嬉しく思います。一方的に教えるのではなく、わきあいあいと、また体験しながら日本語を学んでいくスタイルを取り入れられていてサポーターとして楽しいです。
- ・教室に来られている学習者と顔見知りになって街中であうと挨拶できたのが良かった。
- ・教室が始まったばかりの頃は、あまり日本語を話さなかった学習者が終わりに近づくにつれ、積極的に話しをしてくれるようになったのが嬉しかった。
- ・学習中に、同国同士の方が母国語でおしゃべりする時間が長いときは、どのタイミングで先生の話しを聴くように促すのが難しかった。他国の学習者がどのように感じているかも気になった。
- ・日本語学習サポーターとして参加して、私自身学ぶことや気づかされることがたくさんありました。外国人の方から母国のお話や自分自身についてのお話を聴くのもとても楽しかったし、研修の際ビデオを見て日本で住むことを不安に感じたり、孤独を感じたりしている人もいることを知って、こうして「日本語教室」という形で外国の方々や地域の方々が入りあう場をつくるということとは

でも大切なことだと感じました。参加して本当に良かったです。ありがとうございました。

- ・あまり参加できなかったのですが、外国人の方にいかに日本語をわかりやすく教えるのかというのが、最後まで難しい課題でした。しかし、一緒に授業を受けたり話を聞いたりするなかで、異文化のことを知れたり、私も同じように多くのことを学ぶことができたのでとても有意義な時間を過ごさせていただきました。
- ・外国人の方が日本で生活しやすいようにお手伝いがこれからもできたらと思います。
- ・教室に参加するたび、異国の地で必死に日本語を習得しようと頑張っている学習者の姿に感動し、パワーをもらってきました。今年度は、家庭の行事や家族の入院などが重なり、ほとんど出席できず、中途半端に終わってしまい、心苦しく思っています。

3. 今後も継続して「地域でつながる日本語教室」に日本語学習サポーターとして参加したいですか？

とても参加したい	7
まあまあ参加したい	2
あまり参加したくない	0
もう参加したくない	0
合計	9

※無回答 1 人

4. 地域の日本語教育や外国人支援・ボランティア活動に関して、学んでみたいことがあるれば教えてください。

- ・日本語を教えるという形だけれど、日本に居て、外国語を教えてもらうという形を経験したい気があります。どこの国のことばかりと聞かれると困るけれど……。仕事で来ている人たちと永住したいという気になっている人たちとは、話題が異なると思う。
- ・特になしです。
- ・①生活習慣の違いや言葉がわかりにくい等が原因でいじめにあうために不登校になる子が少なくないと聞きます。教育現場が対応に当たることが大前提ですが、ボランティア活動の中でもできる支援について具体的に実施している例があれば学んでみたい。
②「多文化共生とは？」のそもそも論について学びたい。講師候補：津村公博さん(浜松学院大学教授)”
- ・外国人の方々が日本でどのように生活しているか、困っている事は何か、それに対して市民としてどういう事ができるかを知りたい、また考えたいと思います。
- ・日本語教室の学習者あるいは在住外国人と、地域住民との交流の場があったり、お互いの理解を深める機会があるなど、成功例や実際の例があれば知りたい。
- ・教室に参加している外国人同士(他国間)がお互いに仲よくなったり、日本語で会話したりできるような授業の内容で、参考になる教室の例があれば知りたい。

5. 総社市日本語教室運営委員会および総社市役所に対して、日本語教室に関して何か要望がありましたら、ご自由にお書きください。
- ・外国へ行ったことがあるという人達との交流のようなチャンスを得たい。そういう人たちに会って、自分の知らない、別の国へも行ってみたいという気持ちを湧かせたい。(無論お金が必要となるが)目的ができれば、その方向へ努力するだろうと思うから、心配ない…。私は、在職中の海外出張はゼロだった。
 - ・町で生活していて声を掛けられたりする機会がとても少ないとある外国人の方にうかがいました。月1回でもサロンの場所があると精神的な居場所になるのかなあと感じました。
 - ・日本語教室があることを広く市民に知らせましょう。また高校生や大学生のような若い人びとがサポーターとして参加できる機会を回数を限定して作ったらどうでしょうか？若い人が異なる文化や言語、習慣を知る機会にもなりますし、将来のサポーターを育てることにつながると思います。
 - ・日本の文化や生活等を知る機会がもう少しある教室があってもいいかなと思います。地域に住んでいる外国の方と交流する機会があればいいなと思います。
このような機会(日本語学習サポーター)を作って下さってありがとうございます！
 - ・H25年の授業の中で、茶道を習った時は、みなさん興味津々で、サポーターも含め日本文化を学ぶ良い機会になったと思います。ありがとうございました。次年度も市民の方々と文化交流など出来る機会をもってほしいと思いました。
 - ・総社力石見学は出来ませんでした。おもしろい授業だと思います。防災訓練はとてもためになりました。
 - ・現在「地産地消」とよく言われているので、“買い物”の授業で、例えばサンロード吉備路の直売所などの見学をして、日本(総社)で売られている野菜や果物がどんなものかなど勉強するのもおもしろいかなと思います。(母国との違い、この野菜はなんですか？どうやって料理しますか？などの会話の勉強など)
 - ・何年も参加させて頂いているのに、私自身サポーターの立ち位置がキチンと理解できてなくて、毎回ごちなく振舞っています。

H25 総社市日本語教室 日本語教授者アンケート（中間）

1 今年度の日本語教室に関する全体的な感想・コメントをご自由にお書きください。

- 新しい授業のやり方を考えるのに精いっぱいだった去年に比べて、今年はやり方に慣れて、ゆとりが出て来たのを感じる。授業のシラバスも、去年を踏まえて、やりにくかったものが除かれ、よりやりやすくなっていると思う。クラスのレベルをつかみ、何処が着地点なのかを考えるのが、相変わらず、難しいと思う。私自身の反省点としては、無難に済ませようとしてしまうのを、少しは新たなやり方を試してみるべきではないかと思う。
- 昨年の反省点を生かして、増やすところ、削るところ、強弱をつけてできていると思います。
- 今年度からの参加になりますが、話し合いの場が多くあり、また教授者へのサポートも厚く、非常にやりやすいと感じています。月に一度の打ち合わせでは、コーディネーター、市役所の方、教授者がそれぞれの立場で話し合い、報告があり、教室で教えるだけでは分からない全体像が見えてきます。クラス後の反省会でのサポーターの方からの意見、感想も有益です。
- 学習者・サポーターともにたくさん参加してくれて、活気あるクラスになっているのはうれしいです。学習者のレベル差はありますが、難しいなりに、簡単なりに自分の居場所を見つけて楽しんでいるように思います。続けて来てくれる方が多いのもうれしいですね。年数を重ねて準備や対応など落ち着いてできるものもありいい教室が出来つつあるのかなと思います。
- 今年度は、技能実習生が来たりして、昨年の学習者と雰囲気若干変わりましたが、継続して来られている学習者にとっては、いい刺激になってよいのではないのでしょうか。参加人数も今のところ、減ることもなく、2クラスとも、授業するのにちょうどよい人数が維持できていると思います。去年は時間通りになかなか学習者が揃わず、授業を進めるのに、焦ることがありましたが、今年度はその点もよくなってきたように思います。また、サポーターの方々も、こちらの意図を組んでいいアシストをしてくださる方もいて、とても助かります。

2 日本語教室の運営方針や運営委員・コーディネーターに対するご意見があればお願いします。

- お互い出来るだけ省エネして、ラクに一年を過ごして頂きたいと思う。まず、年間のシラバスを作るのがとても大変だと思うので、決定する前に、意見が言えたり、変更の余地があったりするととても助かると思う。
- みんなで楽しく参加できる見学や体験教室を多く取り入れている点はこのまま継続して

欲しいです。またシラバスも、市販の文法積み上げのテキストを使わず、現行の場面・機能をベースとしたものを続けて欲しいです。日本語面での到達目標を教授者間でもっと共有できるといいと思います。(絵に描いた餅的なものでも問題ないと思います。)

- 多国籍になり最初の方向とは変わってきているようですが、国籍を問わず学習の場を提供することは大切だと思います。人数やレベル差など問題があるとは思いますが、出来る限り受け入れてもらいたいです。コーディネーターの先生のおかげで講師は授業に集中することが出来ます。何かとご苦労をかけますがこれからもお願いします。
- 特にありませんが、学習者の多様化を踏まえた対応が必要になってくると思います。
- 授業後にメールでその日の様子を伝えていただくようになってとても参考になります。

3 今後、総社市で日本語教室・サポーター育成研修を継続していくことについて、ご意見があればお願いします。

- 同じ空間・時間を共有することで、教師とも学習者とも、距離を縮めてきたと思う。是非、地元の方に今後とも日本語教室を支えて頂きたいと思う。いろいろな方が何度か提案されていることだが、順番にゲームの司会を担当して頂くのは、一歩前進できると思う。サポーター研修の一項目に、ゲームを考えて貰うというのを加えるのは、どうだろうか。
- 教授者としては、学習者が継続して来てくれることが一番で、これは問題ないと思います。サポーター育成は、サポーター同士で、または先輩サポーターから新しいサポーターに、サポーターとしての楽しさやコツなどを伝える場が頻繁にあってもいいかと思えます。
- サポーターの方には私が気がつかないところで学習者にサポートやアドバイスをさせていただいて助かっています。日本語教室ではなくボランティアの会話クラスやサロンを作るときに中心になるのは今のサポーターの方になると思います。もっと積極的に日本語に関わってもいいのではないかと思います。
- 継続していただきたいと思います。学習者の多様化を意識したプログラムも必要だと思います。サポーター育成研修には出席したことがないので、具体的にはわかりませんが、サポーター制度の目指すところを明確にするのも必要かなと思います。
- サポーターの方々は全体的にとってもいいサポートをしてくださって助かりますが、ミーティングでいつも「楽しかった。」という感想しか出ないのは、気を使ってくださっているからでしょうか。(あまり厳しすぎない程度に) 授業内容について質問などしていただいてもよいのですが。

4 総社市役所への要望・改善して欲しい点があれば、ご自由にお書きください。

- 楽しいイベントの企画や、授業の助けになる資料の作成など、とても助かっている。地元の間人ではなく、地元の情報に疎いので、是非、今後も助けて頂きたいと思う。途中で参加申し込みをされた方のフルネーム、国籍、個人情報を、追加で頂けたら…と思う。

- 特にありません。
- 日曜日の朝早くからいつも準備や学習者の対応などしていただいております。2時間授業に集中できる環境を作ってくださいありがとうございます。
- いつもサポートありがとうございます。特にありません。
- いつも急なお願いにも対処していただき、感謝しております。

5 そのほか何かご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

- いつもやりやすい雰囲気を作って下さり、とてもありがたいと思っている。
- 学習者の中に、まだ名前が覚えられない方がいます。「名札」を工夫していただけると（学習中に見て分かるように）ありがたいです。

H25 総社市日本語教室 日本語教授者アンケート（最終）

1 今年度の日本語教室に関する全体的な感想・コメントをご自由にお書きください。

- 試行錯誤の9ヶ月でしたが、終わってみれば貴重な経験となりました。一般の教育機関とはまったく異なるニーズ、形式でしたが、変な制約がない分いろいろなことに挑戦できました。
- 今年は最後までたくさんの学習者さんが参加してくれて、良かったです。「外国人生活者の居場所を」というテーマと学習内容、学習者のニーズが一致しはじめているのかな、と思いました。総社市の職員の皆さん、ありがとうございました。わたしも、微力ながら頑張ります。
- 毎年、参加する人の顔ぶれが異なり、だんだん、多国籍になってきたのを感じる。今後も、いい出会いの場になって欲しいと思う。一回限りの積み上げなし方式に変わって2年が過ぎ、やり方に慣れて来たとは思うが、誰を思い浮かべて、どのレベルに合わせたらいいか…を考えるのが、一番難しいと思う。
- 今年度は、年間を通して、学習者の数が一定していたし、時間通りに授業を始められることが多かったです。サポーターの方々も、こちらから特にお願いをしなくても、授業の流れを見て、いいサポートをしてくださって助かりました。おかげで、昨年よりも授業が進めやすくなったと思います。クラスⅠで、継続して参加してくれた方が、一年を通して、徐々に発言が増えていき、明るくなっていく様子が見られたのが、非常に嬉しいことでした。
- 開始から最後までメンバーの入れ替わりもあったものの、安定した人数が来てくれたのはうれしかったです。継続してきてくれる人もいて、ニーズにあったことができたのかなと思います。日本語力が上がっているのがわかる人もいたり、質問をする人も多く有意義な時間でした。

2 日本語教室の運営方針や運営委員・コーディネーターに対するご意見があればお願いします。

- 基本的に現状の形式を希望しています。学習者やサポーターの声を教授者にもっと届けてもらいたいです。教授者がとても守られている教室だと感じていますが、特に学習者の声はダイレクトに届けてもらえると助かります。一つ一つの意見にどう反応するかは場合によりけりですが、意外なところで役に立つこともあるかと思います。
- ますます、学習者の国籍が多様化してきました。また、社会的立場、学習目的も様々ですが、他の場所で対応できないようなケースの方が参加できるような教室を実現したいですね。難しいですが。

- 実際に担当してみて、やりにくかった、しんどかった…という報告は貴重だと思うので、それを次年度のシラバスに活かして頂きたいと思う。お互いにできるだけ省エネをして、ラクにクリアーしていけたら…と思う。
- 教授者が授業をやりやすいように、気を配っていただいていると思います。
- このスタイルになって2年目。最初は不安がありましたが、去年の蓄積が生かせたと思います。学習者にはいろいろなニーズがあると思いますが、生活・会話中心のこのスタイルで続けていくことがいいのではないかと思います。

3 今後、総社市で日本語教室・サポーター育成研修を継続していくことについて、ご意見があればお願いします。

- 学習者のみなさんの居場所にもなっている日本語教室なので、どんな形であれ、続いて欲しいと思います。サポーター育成に関しては、今年度はそこまで考える余裕がなかったというのが正直なところですが、不定期で教室に行く教授者よりも、連続して来ているサポーターの方が一人ひとりの学習者により近い存在になっていると思うので、授業中もサポーターにはもっともっと前に出てきてもらってかまわないと思っています。
- 継続していくことは、必要だと思います。また、サポーター研修では外国人に慣れるということで、学習者以外の外国人(日本に長時間住んでいる方)の話聞く機会なども、どうでしょうか。
- かなりの回数を参加して下さる方が増えて、ここ総社ではどうですか?という問いかけに地元ならではの…の答を下さるのが、とても助かる。
- サポーターの方々も授業でのサポートにだいぶ慣れてきたと思うので、今後もう少し役割を増やすのであれば、サポーターの方が仕切る時間を少し設けるというのはいかがでしょうか。(たとえば、クラス合同のゲームを仕切ってもらう。授業の始めか終わりに、サポーターの方から学習者にひとつ質問してもらおう。など。)
- サポーターの方も慣れた方も多くなり、積極的に学習者に関わってくれて助かっています。サポーターの方にも授業に関わっていただいてもいいと思うのですが。

4 総社市役所への要望・改善して欲しい点があれば、ご自由にお書きください。

- 学習者名簿に、親族関係や「〇〇さんの紹介」など書いてあると助かります。
- 特にありません。
- 地元情報が頂けたり、授業に使える資料を作って下さったり、楽しい文化紹介があったりで、とても助かっている。年度途中で入会した方の追加情報が頂けると、とても助かる。

- 日本語教室以外にも多くの業務を担当されているにも関わらず、いつも迅速に対応してくださってありがとうございます。
- 全体に去年おととしの蓄積がありストレスなく授業ができています。市役所の方もいろいろと準備をしていただけて助かっています。

5 そのほか何かご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

- 一年間、ありがとうございました。
- とてもチームワークよく、やりやすい雰囲気を作って下さっているのが、一番ありがたいと思う。
- 次回も継続して来てくれる学習者、サポーターの方がいることを願っています。

- ◆日本語教室に参加するすべての人が気持ちよく教室に参加できるよう、「総社市日本語学習サポーター 誓約書」の内容をお読みいただき、同意の署名にご記入をお願いいたします。
- ◆日本語教室内で参加者同士のトラブルが発生した場合には、教室参加をご遠慮していただくことがありますので、ご了承ください。

平成25年6月
総社市日本語教室運営委員会

総社市日本語学習サポーター 誓約書

1. 日本語教室に参加するすべての人に対し、人権を侵害するような言動は決して行わない。
2. 日本語教室に参加するすべての人が不愉快な思いをしないよう、互いを尊重し、人間として公平・平等な関係を築けるよう努力する。
3. 日本語教室内で政治的活動、宗教的活動、営業行為及び特定の思想普及等の行為は決して行わない。
4. 日本語教室内で金銭の授受や契約行為（保証人等）は決して行わない。
5. 日本語教室内で知り得た日本語学習者、日本語学習サポーターのプライバシー及び個人情報（住所、電話番号、メールアドレス等）を許可なく第三者に漏らさない。
6. 上記誓約事項を遵守せず、本事業への参加に関連し起こった私自身の損害について、主催者、教授者及び他の参加者などに対し損害賠償を要求しない。

私は、上記事項についてすべて同意し誓約いたします。

年 月 日

氏名： _____ ④

- ◆ 総社市日本語教室では、授業時間内に映像及び写真の撮影を行い、次の使用範囲で使用します。「肖像権使用同意書」の内容をお読みいただき、同意の署名にご記入をお願いいたします。
- ◆ 肖像権の使用に同意をいただけない場合は、必ずスタッフまでお申し出ください。

平成25年6月
総社市日本語教室運営委員会

総社市日本語教室肖像権使用同意書

【使用範囲等】

- 1 教室活動中の映像・写真等（以下教室記録）の、報告書・放送・広告・印刷物・教材・各種メディア（CD-ROM, インターネット等）、あらゆる媒体への掲載権は主催者に属します。
- 2 教室記録の選択、加工、変形等に対して異議申し立てを行いません。
- 3 教室記録の使用地域を制限しません。
- 4 教室記録の使用期間を制限しません。
- 5 教室記録または教室記録を使用した作品及び作品見本の提供を求めません。

私は、上記事項についてすべて同意いたします。

年 月 日

署名：

総社市地域参加型生活サポート日本語教育事業の現状と課題

岡山県総社市役所 市民環境部 人権・まちづくり課
課長補佐 兼 国際・交流推進係長
西川 茂
jinken-machi@city.soja.okayama.jp

岡山大学大学院社会文化科学研究科 准教授
総社市日本語教室 運営委員 兼 コーディネーター
中東 靖恵
yasue@cc.okayama-u.ac.jp

1. 総社市日本語教育事業立ち上げの経緯

1-1 総社市における外国人の状況

- (1) 外国人登録者の状況
- (2) 外国人登録者数の推移（H1～H25）

1-2 総社市における多文化共生施策の概要

- (1) 多文化共生事業の推進体制
- (2) 外国人相談事業
- (3) コミュニティ交流事業
- (4) 日本語教育事業
- (5) 就労支援事業
- (6) 医療・防災支援事業

2. 総社市地域参加型生活サポート日本語教育事業の概要

2-1 文化庁委託「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

- (1) 「生活者としての外国人」に対する日本語教育事業の目的
- (2) H25年度採択状況

2-2 総社市地域参加型生活サポート日本語教育事業の理念と3つの取り組み

- (1) 事業の理念
- (2) 3つの取り組み

2-3 総社市日本語教育事業の運営・連携体制

3. 総社市地域参加型生活サポート日本語教育事業の現状 —「地域でつながる日本語教室」の実際—

3-1 総社市日本語教育事業運営に関わる学術的調査研究

3-2 総社市版「生活者としての外国人」に対する日本語教育カリキュラム

3-3 総社市日本語教室「地域でつながる日本語教室」の特徴

- (1) 総社に暮らす「生活者としての外国人」のための日本語教室
- (2) 日本語教室の授業形態・構成メンバー
- (3) 日本語教室の授業スケジュール
- (4) 総社市版日本語教育カリキュラムに即した学習内容と教室活動
- (5) 日本語教室の具体的な教室活動
 - ① 実体験を伴うコミュニケーション重視の教室活動
 - ② 日本語を使用する活動を通じての実践的な日本語習得
 - ③ 市役所内各部署・各団体との連携による行政情報の提供
 - ④ 地域社会で必要な生活情報の提供
 - ⑤ 地域で暮らすための文化的情報の提供
 - ⑥ 日本人との交流を通じた地域住民同士がつながる場の提供
 - ⑦ 地域の外国人自立支援活動・多文化共生を推進するための基盤作り

4. 総社市地域参加型生活サポート日本語教育事業の課題

4-1 プロジェクト型日本語教育事業のメリットとデメリット

4-2 行政を事業主体とする日本語教育事業のメリットとデメリット

4-3 進む多国籍化・多言語化への対応

4-4 地域間連携による情報交換・情報共有・人的交流の重要性

5. 多文化共生社会を実現するまちづくりを目指して

【参考資料】

総社市市民環境部人権・まちづくり課国際・交流推進係編（2012）『総社市における南米系定住外国人の言語生活実態調査報告書』

http://www.city.soja.okayama.jp/kankyo_machidukuri/tabunkakyousei/date/gaikokujinchousa.jsp

総社市市民環境部人権・まちづくり課国際・交流推進係編（2013）『総社市における多文化共生施策の概要』

総社市市民環境部人権・まちづくり課国際・交流推進係編（2013）『総社市日本語教育事業の概要—多文化共生社会を実現するまちづくりを目指して』

総社市日本語教室編（2013）『地域でつながる日本語教室 2012』

<http://www.nihongo-ews.jp/>（文化庁日本語教育コンテンツ共有システム NEWS）

「やさしい日本語」

2/25
(TUE)

～日本語ではじめる多文化コミュニケーション～

「やさしい日本語」とは
普通の日本語よりも簡単で外国人にもわかりやすい日本語です。災害時に、外国人被災者のコミュニケーションを助けるために作られました。多文化共生を目指す企業や自治体、NPO等の様々な取り組みでも使われています。

外国人と接するときには、外国語でなければ伝わらないと思っていませんか？
急な外国人への対応にうろたえないために、多文化共生スキルを磨きましょう。
必要な技術は、あなたが普段使っている日本語だけです！

◆◆◆研修内容◆◆◆

【事業紹介】 13:30～13:45

総社市の日本語教育の概要

行政情報の提供や外国人住民と地域とがつながる場づくりをめざした、本市の日本語教育事業に関する取り組みを紹介します。(文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業」受託事業)



【講演】 13:45～16:30

多文化共生と「やさしい日本語」

講師 土井 佳彦氏

(特活) 多文化共生リソースセンター東海 代表理事

(特活) 多文化共生マネージャー全国協議会 理事

2011年「東北地方太平洋沖地震多言語センター」のセンター長に就任。同年、愛知県委託事業として『やさしい日本語』の手引きの作成及びスマートフォンアプリ「やさしい日本語」を開発。

日時 平成26年2月25日(火) 13:30～16:30

場所 総社市総合福祉センター3階 大会議室

総社市中央一丁目1番3号(総社市役所隣接)

申込方法 裏面申込書を問合せ先に提出してください
(メール、ファクシミリでも構いません)

定員 先着80人(本講座は総社市職員研修として実施しますが、
参加希望者は申込の上で参加できます。)

問合せ先 総社市人権・まちづくり課 総社市中央一丁目1番1号

Tel (0866)92-8242 Fax (0866)93-9479

E-mail jinken-machi@city.soja.okayama.jp



総社市職員研修

「やさしい日本語」

～日本語ではじめる多文化コミュニケーション～

本研修は総社市職員研修として実施しますが、参加希望者は申込みの上で参加できます。下の参加申込書に記入の上で、問合せ先まで提出してください。（郵送・FAX・メール可）

日時 平成26年2月25日（火）13:30～16:30

場所 総社市総合福祉センター3階 大会議室
総社市中央一丁目1番3号（総社市役所隣接）



参加費 無料（申込みが必要です）

申込先・問合せ先	住所	〒719-1192 総社市中央一丁目1番1号	
総社市	TEL	(0866) 92-8242	
人権・まちづくり課	FAX	(0866) 93-9479	
国際・交流推進係	E-mail	jinken-machi@city.soja.okayama.jp	

総社市職員研修「やさしい日本語」参加申込書

※ 複数名で申込の場合は、コピーして御利用ください

ふりがな		年齢		男	・	女
名前						
住所						
電話番号	所属団体 (あれば)					

※個人情報は本事業の実施目的以外には使用いたしません。